教科	動物形態機能学	1年	動物看護科	90時間	1コマ	120分	
学習目標		解剖学及び生理学の基礎を知り生命体としての動物を理解できるようにする。動物体の構造と機能について学習する。特にイヌやネコを基本に解剖学及び生理学を理解することを目指す。その他の動物についてもイヌやネコと比較しながら学ぶ。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物形態機能学	廣田	体を構成する要素	動物細胞の構造、細胞内小器官の働きを学ぶ。	犬と猫の体の仕組み
2	動物形態機能学	廣田	体を構成する要素	動物細胞の構造、細胞内小器官の働きを学ぶ。	犬と猫の体の仕組み
3	動物形態機能学	廣田	体を構成する要素	動物細胞の階層（器官、組織、細胞について理解する。	犬と猫の体の仕組み
4	動物形態機能学	廣田	運動器系（骨格、筋肉）	骨の成分と働きを理解する。 骨の代謝について理解する。	犬と猫の体の仕組み
5	動物形態機能学	廣田	運動器系（骨格、筋肉）	関節の構造、種類、名称を学ぶ。 骨格（軸骨格，付属肢骨格、内臓骨格）を学ぶ。	犬と猫の体の仕組み
6	動物形態機能学	廣田	運動器系（骨格、筋肉）	動物種による歩行様式の違いを理解する。 筋肉の種類とつくりを知る。 筋肉の収縮のメカニズムを理解する。	犬と猫の体の仕組み
7	動物形態機能学	廣田	消化器系	歯の構造を知る（動物種による違いを学ぶ）。嚥下の仕組みについて学ぶ。	犬と猫の体の仕組み
8	動物形態機能学	廣田	消化器系	消化に関わる器官の構造 （消化管、消化腺、動物種による違い）	犬と猫の体の仕組み
9	動物形態機能学	廣田	消化器系	消化に関わる器官の機能（栄養素を消化する仕組み、動物種による違い）	犬と猫の体の仕組み
10	動物形態機能学	廣田	消化器系	消化に関わる器官の機能　（栄養素を体に取り込む仕組み、動物種による違い） 肝臓の機能	犬と猫の体の仕組み
11	動物形態機能学	廣田	循環器系	循環器系の構成を理解する。（体循環、肺循環、門脈循環）。血管の構造を理解する（動脈、静脈、毛細血管）	犬と猫の体の仕組み
12	動物形態機能学	廣田	循環器系	リンパの流れについて学ぶ。心臓の構造について理解する。	犬と猫の体の仕組み
13	動物形態機能学	廣田	循環器系	リンパの流れについて学ぶ。心臓の構造について理解する。	犬と猫の体の仕組み
14	動物形態機能学	廣田	循環器系	心臓の興奮と伝達。心臓の収縮。心電図について理解する。	犬と猫の体の仕組み

15	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（血漿成分）	犬と猫の体の仕組み
16	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（血漿成分）	犬と猫の体の仕組み
17	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（血漿成分）	犬と猫の体の仕組み
18	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（細胞成分）、血液凝固	犬と猫の体の仕組み
19	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（細胞成分）、血液凝固	犬と猫の体の仕組み
20	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（細胞成分）、血液凝固	犬と猫の体の仕組み
21	動物形態機能学	廣田	免疫	自然免疫と獲得免疫。 白血球の働き。	犬と猫の体の仕組み
22	動物形態機能学	廣田	免疫	細胞性免疫と液性免疫。 アレルギー（I~IV） 免疫グロブリンの基本構造とサブクラス。	犬と猫の体の仕組み
23	動物形態機能学	廣田	免疫	移行抗体の胎盤移行性について。 リンパ性付属器官	犬と猫の体の仕組み
24	動物形態機能学	廣田	呼吸器系	呼吸器系の構造（鼻腔、咽頭、喉頭、気管、気管支、肺）	犬と猫の体の仕組み
25	動物形態機能学	廣田	呼吸器系	呼吸器の機能① 外呼吸、内呼吸 肺胞におけるガス交換	犬と猫の体の仕組み
26	動物形態機能学	廣田	呼吸器系	呼吸器の機能② 組織でのガス交換 酸素解離曲線	犬と猫の体の仕組み
27	動物形態機能学	廣田	泌尿器系	泌尿器系の構造（腎臓、尿管、膀胱、尿管、尿道）	犬と猫の体の仕組み
28	動物形態機能学	廣田	泌尿器系	泌尿器系の機能① 体液調整と尿生成ついて	犬と猫の体の仕組み
29	動物形態機能学	廣田	泌尿器系	泌尿器系の機能② 体液調整と尿生成ついて。腎臓から分泌される生理活性物質について。	犬と猫の体の仕組み
30	動物形態機能学	廣田	生殖器系	生殖器系の構造① イヌ、ネコ	犬と猫の体の仕組み
31	動物形態機能学	廣田	生殖器系	生殖器系の構造② イヌ、ネコ	犬と猫の体の仕組み

32	動物形態機能学	廣田	生殖器系	生殖器系の構造① 産業動物	犬と猫の体の仕組み
33	動物形態機能学	廣田	生殖器系	春期発動 性周期（イヌ、ネコ、産業動物） 妊娠期間（イヌ、ネコ、産業動物）	犬と猫の体の仕組み
34	動物形態機能学	廣田	神経系	神経細胞と支持細胞について	犬と猫の体の仕組み
35	動物形態機能学	廣田	神経系	神経系の分類と構造（中枢神経、末梢神経）①	犬と猫の体の仕組み
36	動物形態機能学	廣田	神経系	神経系の分類と構造（中枢神経、末梢神経）② 神経伝達の仕組みについて神経伝達物質）	犬と猫の体の仕組み
37	動物形態機能学	廣田	内分泌系	内分泌と外分泌の違い 全身の内分泌腺について理解する	犬と猫の体の仕組み
38	動物形態機能学	廣田	内分泌系	内分泌と外分泌の違い 全身の内分泌腺について理解する	犬と猫の体の仕組み
39	動物形態機能学	廣田	内分泌系	ホルモンの生理作用①	犬と猫の体の仕組み
40	動物形態機能学	廣田	内分泌系	ホルモンの生理作用②	犬と猫の体の仕組み
41	動物形態機能学	廣田	内分泌系	ホルモンの生理作用③、ホルモンの分泌調節	犬と猫の体の仕組み
42	動物形態機能学	廣田	感覚器系	様々な感覚　（感覚の分類、感覚と受容器、 動物による感じ方の違い）	犬と猫の体の仕組み
43	動物形態機能学	廣田	感覚器系	特殊感覚　（視覚）	犬と猫の体の仕組み
44	動物形態機能学	廣田	感覚器系	特殊感覚（聴覚、平衡感覚、嗅覚）	犬と猫の体の仕組み
45	動物形態機能学	廣田	感覚器系	特殊感覚（聴覚、平衡感覚、嗅覚）	犬と猫の体の仕組み
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物形態機能学	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		解剖学及び生理学の基礎を復習し生命体としての動物を理解。動物体の構造と機能について復習する。特にイヌやネコの解剖学及び生理学を理解することを目指す。その他の動物についてもイヌやネコと比較しながら学ぶ。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物形態機能学	廣田	体を構成する要素	動物細胞の階層（器官、組織、細胞について復習する。	犬と猫の体の仕組み
2	動物形態機能学	廣田	運動器系（骨格、筋肉）	関節の構造、種類、名称を復習。 骨格（軸骨格，付属肢骨格、内臓骨格）を復習。	犬と猫の体の仕組み
3	動物形態機能学	廣田	運動器系（骨格、筋肉）	動物種による歩行様式の違いを復習する。筋肉の種類とつくりを知る。 筋肉の収縮のメカニズムを復習する。	犬と猫の体の仕組み
4	動物形態機能学	廣田	消化器系	歯の構造を知る（動物種による違いを学ぶ）。嚥下の仕組みについて学ぶ。	犬と猫の体の仕組み
5	動物形態機能学	廣田	消化器系	消化に関わる器官の機能　（栄養素を体に取り込む仕組み、動物種による違い） 肝臓の機能	犬と猫の体の仕組み
6	動物形態機能学	廣田	循環器系	心臓の興奮と伝達。心臓の収縮。心電図について復習する。循環器系の構成を復習する。（体循環、肺循環、門脈循環）。血管の構造を復習する（動脈、静脈、毛細血管）	犬と猫の体の仕組み
7	動物形態機能学	廣田	血液	血液の組成（細胞成分）、血液凝固	犬と猫の体の仕組み
8	動物形態機能学	廣田	免疫	移行抗体の胎盤移行性について。 リンパ性付属器官	犬と猫の体の仕組み
9	動物形態機能学	廣田	呼吸器系	呼吸器の機能 組織でのガス交換 酸素解離曲線	犬と猫の体の仕組み
10	動物形態機能学	廣田	泌尿器系	泌尿器系の機能 体液調整と尿生成ついて。腎臓から分泌される生理活性物質について復習。	犬と猫の体の仕組み
11	動物形態機能学	廣田	生殖器系	春期発動 性周期（イヌ、ネコ、産業動物） 妊娠期間（イヌ、ネコ、産業動物）を復習	犬と猫の体の仕組み
12	動物形態機能学	廣田	神経系	神経系の分類と構造（中枢神経、末梢神経） 神経伝達の仕組みについて（神経伝達物質）	犬と猫の体の仕組み
13	動物形態機能学	廣田	内分泌系	内分泌と外分泌の違い 全身の内分泌腺について理解する	犬と猫の体の仕組み
14	動物形態機能学	廣田	内分泌系	ホルモンの生理作用、ホルモンの分泌調節	犬と猫の体の仕組み
15	動物形態機能学	廣田	感覚器系	様々な感覚　（感覚の分類、感覚と受容器、動物による感じ方の違い） 特殊感覚（聴覚、平衡感覚、嗅覚）	犬と猫の体の仕組み

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物繁殖学	1年	動物看護科	24時間	1コマ	120分	
学習目標		雌雄の生殖器の構造を理解したうえで、犬と猫の雌の発情・妊娠・分娩などの繁殖についての過程を学び、生殖器疾患と新生子疾患の疾患名について学習する。また、看護のポイントについてもしっかりと理解することを目的とする。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物繁殖学	林	生殖器の構造	雌雄別、動物種別に生殖器の構造を理解する①	絵で見る解剖学
2	動物繁殖学	林	生殖器の構造	雌雄別、動物種別に生殖器の構造を理解する②	絵で見る解剖学
3	動物繁殖学	林	生殖機能のホルモン支配	生殖系ホルモンの主な生理作用を理解する	絵で見る解剖学
4	動物繁殖学	林	生殖機能のホルモン支配	性成熟と生殖周期（ライフサイクル、季節周期）を理解する	絵で見る解剖学
5	動物繁殖学	林	繁殖生理	①雌犬、雌猫の繁殖生理について	絵で見る解剖学
6	動物繁殖学	林	繁殖生理	②雄犬、雄猫の繁殖生理について	絵で見る解剖学
7	動物繁殖学	林	妊娠・分娩	交配、妊娠～分娩、新生子の管理までの流れを理解する①	絵で見る解剖学
8	動物繁殖学	林	妊娠・分娩	交配、妊娠～分娩、新生子の管理までの流れを理解する②	絵で見る解剖学
9	動物繁殖学	林	繁殖障害	①妊娠期および産後の異常	絵で見る解剖学
10	動物繁殖学	林	繁殖障害	①雌の繁殖障害について②雄の繁殖障害について	絵で見る解剖学
11	動物繁殖学	林	X線①	基本的X線知識を理解する。レントゲン撮影時の保定法、アナログフィルムの取扱法、現像法、基礎的読影法を理解する	動物看護の実践
12	動物繁殖学	林	X線②	基本的X線知識を理解する。レントゲン撮影時の保定法、アナログフィルムの取扱法、現像法、基礎的読影法を理解する	動物看護の実践

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物繁殖学	2年	動物看護科	6時間	1コマ	120分	
学習目標		雌雄の生殖器の構造を理解したうえで、犬と猫の雌の発情・妊娠・分娩などの繁殖についての過程を学び、生殖器疾患と新生子疾患の疾患名について学習する。また、看護のポイントについてもしっかりと理解することを目的とする。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物繁殖学	林	妊娠学①	動物の妊娠・出産について理解する。腟スメアを観察しての犬の発情診断、精液を実際に採取し顕微鏡でその形態を観察、実際の交尾、出産をオリジナル動画によって学習する	小動物繁殖学、動物看護の実践
2	動物繁殖学	林	妊娠学②	動物の妊娠・出産について理解する。腟スメアを観察しての犬の発情診断、精液を実際に採取し顕微鏡でその形態を観察、実際の交尾、出産をオリジナル動画によって学習する	小動物繁殖学、動物看護の実践
3	動物繁殖学	林	エコー①	早期妊娠診断ツールである超音波画像診断装置の基礎を理解する。フルーツゼリーを用いてエコー画像の基礎を理解した後に実際に動物にエコーを当て、どの様な画像を得られるか理解する。	超音波診断法（ビデオ）、小動物繁殖学
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物病理学	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		◇学習目標:細胞の損傷、基本病変、免疫異常、浮腫、腫瘍について理解する ◆到達目標: ①細胞の損傷及び老化を理解できる ②基本的な病変(循環障害、退行性変化、炎症、進行性変化)のメカニズムを理解できる ③免疫異常のメカニズムを理解できる ④腫瘍の発生と分類を理解できる					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物病理学	林	病理概論	病理学とは何か	パワーポイントスライド
2	動物病理学	林	病理概論	病気の変遷①	パワーポイントスライド
3	動物病理学	林	病理学の言葉の定義	病理学で用いられる言葉の定義①	パワーポイントスライド
4	動物病理学	林	壊死、循環障害	壊死とは何か	パワーポイントスライド
5	動物病理学	林	壊死、循環障害	循環障害とは何か	パワーポイントスライド
6	動物病理学	林	壊死、循環障害	壊死の復習 循環障害の復習	パワーポイントスライド
7	動物病理学	林	血栓、アポトーシス、老化、ショック	血栓の形成とはなにか	パワーポイントスライド
8	動物病理学	林	血栓、アポトーシス、老化、ショック	アポトーシスとはなにか	パワーポイントスライド
9	動物病理学	林	血栓、アポトーシス、老化、ショック	老化とはなにか	パワーポイントスライド
10	動物病理学	林	血栓、アポトーシス、老化、ショック	ショックとはなにか	パワーポイントスライド
11	動物病理学	林	免疫、アレルギー	免疫とアレルギーについて①	パワーポイントスライド
12	動物病理学	林	免疫、アレルギー	免疫とアレルギーについて②	パワーポイントスライド
13	動物病理学	林	感染病理、環境疾患	感染症の経過、環境の影響による疾患について①	パワーポイントスライド
14	動物病理学	林	感染病理、環境疾患	感染症の経過、環境の影響による疾患について②	パワーポイントスライド
15	動物病理学	林	腫瘍	腫瘍について①	パワーポイントスライド

評価方法	学期末試験　授業態度

教科	動物薬理学	2年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標		1．薬理学とは何か、薬物治療の目的は何か学習する 2．薬理作用とその発現機構、作用の強さ、有害作用について学習する 3．薬物の剤形と投与方法について、その特徴を理解する 4．各種の薬物について、作用機序や種類を学習する 5．臨床現場で使用されることの多い薬物について理解する					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物薬理学	廣田	薬理学総論	1．薬理学とは何か学習し、現場で活用できる知識を身につけることを意識づける 2．薬物の取り扱いについて学習する 3．医薬品の分類と法規について学習し理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
2	動物薬理学	廣田	薬理学総論	1．薬理学とは何か学習し、現場で活用できる知識を身につけることを意識づける 2．薬物の取り扱いについて学習する 3．医薬品の分類と法規について学習し理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
3	動物薬理学	廣田	薬理学の基礎	1．薬理作用とその発現機構について学習し、理解する 2．薬物の作用点と受容体について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
4	動物薬理学	廣田	薬理学の基礎	1．薬理作用とその発現機構について学習し、理解する 2．薬物の作用点と受容体について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
5	動物薬理学	廣田	薬理学の基礎	1．生体内での薬物の動態について学習し、理解する 2．薬用量の計算を学習し、正確に応用できるよう習得する 3．薬物の代謝について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
6	動物薬理学	廣田	薬理学の基礎	1．生体内での薬物の動態について学習し、理解する 2．薬用量の計算を学習し、正確に応用できるよう習得する 3．薬物の代謝について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
7	動物薬理学	廣田	薬理学各論 麻酔薬 注射麻酔薬	1．神経系に作用する薬について学習する(1) ①注射麻酔薬の種類について学習する ②吸入麻酔薬の作用について学習し、理解する ③吸入麻酔の種類について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
8	動物薬理学	廣田	薬理学各論 吸入麻酔薬 局所麻酔薬	1．神経系に作用する薬について学習する(2) ①吸入麻酔の種類について学習し、理解する ②局所麻酔薬の作用について学習する ③局所麻酔薬の種類について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
9	動物薬理学	廣田	薬理学各論 鎮静薬 抗けいれん薬	1．神経系に作用する薬について学習する(3) ①鎮静薬、抗けいれん薬の作用について学習し、理解する ②鎮静薬、抗けいれんの種類について学習する 2．行動異常の治療薬の種類について学習する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
10	動物薬理学	廣田	薬理学各論 呼吸器系に作用する薬	1．呼吸器に作用する薬について学習する ①呼吸興奮薬について学習する ②鎮咳薬、去痰薬、気管拡張薬について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
11	動物薬理学	廣田	薬理学各論 呼吸器系に作用する薬	1．呼吸器に作用する薬について学習する ①呼吸興奮薬について学習する ②鎮咳薬、去痰薬、気管拡張薬について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
12	動物薬理学	廣田	薬理学各論 循環器に作用する薬物	1．循環器に作用する薬について学習する ①血管拡張作用のしくみについて学習し、理解する ②血管拡張薬の種類について学習する ③心不全治療薬、抗不整脈薬について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
13	動物薬理学	廣田	薬理学各論 循環器に作用する薬物	1．循環器に作用する薬について学習する ①血管拡張作用のしくみについて学習し、理解する ②血管拡張薬の種類について学習する ③心不全治療薬、抗不整脈薬について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス
14	動物薬理学	廣田	薬理学各論 ミニテスト	1．ここまでの授業について復習、疑問点を確認する 2．小テスト	動物看護コアテキスト3（動物薬理学）ファームプレス

15	動物薬理学	廣田	薬理学各論 泌尿器系に作用 する薬物	1．泌尿器に作用する薬について学習する ①腎機能について復習する ②利尿薬について学習し、理解する ③利尿薬以外の泌尿器に作用する薬物の種類と作用機序について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
16	動物薬理学	廣田	薬理学各論 泌尿器系に作用 する薬物	1．泌尿器に作用する薬について学習する ①腎機能について復習する ②利尿薬について学習し、理解する ③利尿薬以外の泌尿器に作用する薬物の種類と作用機序について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
17	動物薬理学	廣田	薬理学各論 消化器系に作用する薬物	1．消化器に作用する薬について学習する ①嘔吐の機序と制吐薬について学習し、理解する ②胃酸分泌について学習する ③潰瘍治療薬の作用機序と種類を学習し、理解する 2．その他消化器に作用する薬について学習する ①止瀉薬について学習し、理解する ②下剤について学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
18	動物薬理学	廣田	薬理学各論 消化器系に作用する薬物	1．消化器に作用する薬について学習する ①嘔吐の機序と制吐薬について学習し、理解する ②胃酸分泌について学習する ③潰瘍治療薬の作用機序と種類を学習し、理解する 2．その他消化器に作用する薬について学習する ①止瀉薬について学習し、理解する ②下剤について学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
19	動物薬理学	廣田	薬理学各論 消化器系に作用する薬物	1．消化管運動について学習する 2．消化管に作用する薬、止瀉･瀉下薬について学習し、理解する 3．肝疾患の薬について学習し、理解する 4．胆汁について復習する 5．胆道疾患の治療薬について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
20	動物薬理学	廣田	薬理学各論 消化器系に作用する薬物	1．消化管運動について学習する 2．消化管に作用する薬、止瀉･瀉下薬について学習し、理解する 3．肝疾患の薬について学習し、理解する 4．胆汁について復習する 5．胆道疾患の治療薬について学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
21	動物薬理学	廣田	薬理学各論 オータコイド、代謝･内分泌系の薬物	1．オータコイドについて学習する ①オータコイドとは何か理解する ②ヒスタミンの生理作用と抗ヒスタミン薬について学習する ③セロトニンの生理作用とセロトニン作動薬、拮抗薬について学習する ④ブラジキニンについて学習する 2．糖尿病の治療薬について学習する ①インスリンの分泌調節と生理作用について復習する ②糖尿病について学習する ③糖尿病治療薬について学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
22	動物薬理学	廣田	薬理学各論 オータコイド、代謝･内分泌系の薬物	1．オータコイドについて学習する ①オータコイドとは何か理解する ②ヒスタミンの生理作用と抗ヒスタミン薬について学習する ③セロトニンの生理作用とセロトニン作動薬、拮抗薬について学習する ④ブラジキニンについて学習する 2．糖尿病の治療薬について学習する ①インスリンの分泌調節と生理作用について復習する ②糖尿病について学習する ③糖尿病治療薬について学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
23	動物薬理学	廣田	薬理学各論 代謝･内分泌系の薬物	1．甲状腺障害の治療薬について学習する ①甲状腺の機能について復習する ②甲状腺障害について犬、猫の違いを学習し、その治療薬について学習する 2．ステロイドホルモンと抗炎症薬について学習する ①ステロイドホルモンの分泌調節、生理作用について復習する ②抗炎症薬としての作用を学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
24	動物薬理学	廣田	薬理学各論 代謝･内分泌系の薬物	1．甲状腺障害の治療薬について学習する ①甲状腺の機能について復習する ②甲状腺障害について犬、猫の違いを学習し、その治療薬について学習する 2．ステロイドホルモンと抗炎症薬について学習する ①ステロイドホルモンの分泌調節、生理作用について復習する ②抗炎症薬としての作用を学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
25	動物薬理学	廣田	薬理学各論 抗炎症薬	1．抗炎症薬について学習する ①炎症について理解する ②抗炎症薬の作用機序と種類について学習する ③臨床現場で利用されている薬剤について学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス

26	動物薬理学	廣田	薬理学各論 抗炎症薬	1．抗炎症薬について学習する ①炎症について理解する ②抗炎症薬の作用機序と種類について学習する ③臨床現場で利用されている薬剤について学習する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
27	動物薬理学	廣田	薬理学各論 血液に作用する薬物　薬理学各論	1．抗貧血薬、血液凝固抑制薬、血液凝固促進薬について学習する 2．免疫抑制薬について学習する化学療法薬について学習する ①消毒薬、殺虫薬、抗菌薬について、作用機序や効果、臨床での利用などを学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
28	動物薬理学	廣田	薬理学各論 血液に作用する薬物　薬理学各論	1．抗貧血薬、血液凝固抑制薬、血液凝固促進薬について学習する 2．免疫抑制薬について学習する化学療法薬について学習する ①消毒薬、殺虫薬、抗菌薬について、作用機序や効果、臨床での利用などを学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
29	動物薬理学	廣田	薬理学各論 血液に作用する薬物　薬理学各論	1．抗貧血薬、血液凝固抑制薬、血液凝固促進薬について学習する 2．免疫抑制薬について学習する化学療法薬について学習する ①消毒薬、殺虫薬、抗菌薬について、作用機序や効果、臨床での利用などを学習し、理解する	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
30	動物薬理学	廣田	薬理学各論 ミニテスト	1．ここまでの授業について復習、疑問点を確認する 2．小テスト	動物看護コアテキスト3 （動物薬理学） ファームプレス
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物感染症学	1年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標	寄生虫学総論では、寄生虫学の基礎を理解する。 寄生虫学各論では、小動物に関係する寄生虫を中心に学習する。 産業動物の寄生虫は、地域性なども配慮し国内に発生する寄生虫について学習する。 人獣共通寄生虫症について学習し、動物看護師として深く理解する。						

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物感染症学	廣田	寄生虫学総論	1．寄生虫の種類について学習する。 2．寄生虫用語を理解し、説明できるようにする。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
2	動物感染症学	廣田	寄生虫学総論	1．寄生虫用語を理解し、説明できるようにする。 2．寄生虫の生活環について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
3	動物感染症学	廣田	寄生虫学総論	1．寄生虫用語を理解し、説明できるようにする。 2．寄生虫の生活環について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
4	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．寄生虫の生活環について寄生虫の種類による違いを学習する。 2．原虫類の生活環について、説明できるようにする。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
5	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．寄生虫の生活環について寄生虫の種類による違いを学習する。 2．原虫類の生活環について、説明できるようにする。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
6	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の鞭毛虫類について学習する。 ①赤痢アメーバについて学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
7	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の鞭毛虫類について学習する。 ①赤痢アメーバについて学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
8	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の鞭毛虫類について学習する。 ①ジアルジアについて生活環、症状学習する。 ②ジアルジアの治療、予防法について学習し、発生時の対策について理解する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
9	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の鞭毛虫類について学習する。 ①ジアルジアについて生活環、症状学習する。 ②ジアルジアの治療、予防法について学習し、発生時の対策について理解する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
10	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の胞子虫類について学習する。 ①コクシジウム類について学習する。 ②生活環、病原性、症状について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
11	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の胞子虫類について学習する。 ①コクシジウム類について学習する。 ②生活環、病原性、症状について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
12	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の胞子虫類について学習する。 ①コクシジウム類について学習する。 ②生活環、病原性、症状について学習する。 ③治療、予防法について学習し、発生時の対処法を理解する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
13	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類	1．原虫類の胞子虫類について学習する。 ①コクシジウム類について学習する。 ②生活環、病原性、症状について学習する。 ③治療、予防法について学習し、発生時の対処法を理解する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー

14	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類 線虫類	1．原虫類小テスト解答 2．線虫類について、特徴、生活環を学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
15	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類 線虫類	1．線虫類について、特徴、生活環を学習する。 ①回虫類について学習する。②犬回虫の生活環を理解し、説明できるようにする。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
16	動物感染症学	廣田	内部寄生虫 原虫類 線虫類	1．線虫類について、特徴、生活環を学習する。 ①回虫類について学習する。②犬回虫の生活環を理解し、説明できるようにする。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
17	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．回虫類の種類を学習し、種類による違いを理解する。 2．蟯虫について、生活環、症状、治療、検査法について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
18	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．回虫類の種類を学習し、種類による違いを理解する。 2．蟯虫について、生活環、症状、治療、検査法について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
19	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．回虫類の種類を学習し、種類による違いを理解する。 2．鉤虫類について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
20	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．回虫類の種類を学習し、種類による違いを理解する。 2．鉤虫類について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
21	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．糞線虫類について、生活環、症状、治療、予防法などについて学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
22	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．糞線虫類について、生活環、症状、治療、予防法などについて学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
23	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．犬糸状虫の生活環、症状、治療、予防法について学習する。 2．東洋眼虫、鞭虫、旋毛虫について生活環、症状、治療、予防法などを学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
24	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学 線虫類	1．犬糸状虫の生活環、症状、治療、予防法について学習する。 2．東洋眼虫、鞭虫、旋毛虫について生活環、症状、治療、予防法などを学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
25	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．原虫類、線虫類について復習し、理解しなおす。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
26	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．原虫類、線虫類について復習し、理解しなおす。 2．小テスト	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
27	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．小テスト解答	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
28	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．吸虫類の特徴について学習する。 2．吸虫類の種類と生活環について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
29	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．吸虫類の特徴について学習する。 2．吸虫類の種類と生活環について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
30	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．中間宿主と終宿主を覚える。 2．壺型吸虫について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
評価方法			学期末試験・授業態度・提出物		

教科	動物感染症学	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標	寄生虫学総論では、寄生虫学の基礎を理解する。 寄生虫学各論では、小動物に関係する寄生虫を中心に学習する。 産業動物の寄生虫は、地域性なども配慮し国内に発生する寄生虫について学習する。 人獣共通寄生虫症について学習し、動物看護師として深く理解する。						

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．中間宿主と終宿主を覚える。 2．壺型吸虫について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
2	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．条虫類総論 ①条虫類について特徴を学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
3	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．条虫類総論 ①条虫類の種類、生活環について学習する。	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
4	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．条虫類について生活環、症状、治療、予防法などを学習する。 ①マンソン裂頭条虫　②瓜実条虫	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
5	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．条虫類について生活環、症状、治療、予防法などを学習する。 ①マンソン裂頭条虫　②瓜実条虫	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
6	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．条虫類について生活環、症状、治療、予防法などを学習する。 ①多包条虫　②猫条虫	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
7	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．条虫類について生活環、症状、治療、予防法などを学習する。 ①多包条虫　②猫条虫 2．ヒトの条虫について学ぶ	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
8	動物感染症学	廣田	内部寄生虫学	1．吸虫類、条虫類のまとめ 小テスト	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
9	動物感染症学	廣田	外部寄生虫学	1．外部寄生虫総論 2．外部寄生虫各論 ①マダニ	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
10	動物感染症学	廣田	外部寄生虫学	1．外部寄生虫総論 2．外部寄生虫各論 ①マダニ	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
11	動物感染症学	廣田	外部寄生虫学	1．外部寄生虫各論 ①中気門類　②ツメダニ　③ヒゼンダニ類 ④シラミ、ハジラミ類　⑤ノミ類	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
12	動物感染症学	廣田	外部寄生虫学	1．外部寄生虫各論 ①中気門類　②ツメダニ　③ヒゼンダニ類 ④シラミ、ハジラミ類　⑤ノミ類	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
13	動物感染症学	廣田	寄生虫学 検査法	1．寄生虫学検査法について	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
14	動物感染症学	廣田	寄生虫学 検査法	1．寄生虫学検査法について	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
15	動物感染症学	廣田	寄生虫学 まとめ	小テスト	動物看護学教育標準カリキュラム準拠 専門基礎分野 動物寄生虫学 インターズー
評価方法	学期末試験・授業態度・提出物				

教科	動物看護学概論	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		1．動物看護とは何かを学ぶ 2．動物看護の対象と目的について理解する 3．動物看護者の倫理綱領について理解する 4．動物看護過程について理解する 5．QOLについて理解する 6．死の看取りに必要な技術を学ぶ					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	1．動物看護の歴史と定義	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
2	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	2．動物看護の歴史と定義	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
3	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	3．動物看護の歴史と定義	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
4	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	4．動物看護の歴史と定義	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
5	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	2．動物看護の対象と目的	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
6	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	2．動物看護の対象と目的	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
7	動物看護学概論	若山	動物看護学概論	2．動物看護の対象と目的	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
8	動物看護学概論	若山	動物看護師の倫理	1．生活ステージにおける動物看護師の役割 2．動物看護者の倫理綱領	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
9	動物看護学概論	若山	動物看護師の倫理	1．生活ステージにおける動物看護師の役割 2．動物看護者の倫理綱領	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
10	動物看護学概論	若山	動物看護師の倫理	1．生活ステージにおける動物看護師の役割 2．動物看護者の倫理綱領	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
11	動物看護学概論	若山	動物看護師の倫理	1.動物看護者の倫理綱領	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
12	動物看護学概論	若山	動物看護師の倫理	1.動物看護者の倫理綱領	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
13	動物看護学概論	若山	動物看護師の倫理	1.動物看護者の倫理綱領	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
14	動物看護学概論	若山	終末期患者動物の看護	1.ペットロス 2.死後の取り扱い	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
15	動物看護学概論	若山	終末期患者動物の看護	1.ペットロス 2.死後の取り扱い	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物看護学概論	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		1．動物看護とは何かを学ぶ 2．動物看護の対象と目的について理解する 3．動物看護者の倫理綱領について理解する 4．動物看護過程について理解する 5．QOLについて理解する 6．死の看取りに必要な技術を学ぶ					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物看護学概論	若山	終末期患者動物の看護	1.ペットロス 2.死後の取り扱い	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
2	動物看護学概論	若山	終末期患者動物の看護	1.ペットロス 2.死後の取り扱い	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
3	動物看護学概論	濱本	動物看護過程とは	1.動物看護過程の５つの要素と要素１ アセスメント	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
4	動物看護学概論	濱本	動物看護過程とは	1.動物看護過程の５つの要素と要素１ アセスメント	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
5	動物看護学概論	濱本	動物看護過程とは	1.動物看護過程の５つの要素と要素１ アセスメント	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
6	動物看護学概論	濱本	動物看護過程の流れ	1.SOAP形式の紹介。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
7	動物看護学概論	濱本	動物看護過程の流れ	1.SOAP形式の紹介。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
8	動物看護学概論	濱本	動物看護過程の流れ	1.SOAP形式の紹介。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
9	動物看護学概論	濱本	動物看護過程の流れ	1.要素２動物看護診断、要素４動物看 護計画	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
10	動物看護学概論	濱本	QOL	1.QOLについて。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎7
11	動物看護学概論	濱本	QOL	1.QOLについて。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎7
12	動物看護学概論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「痛み」　2.動物看護過 程を用いて断脚手術を受ける動物の看護を GWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
13	動物看護学概論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「かゆみ・脱毛」 2.動物看護過程を用いてかゆみ・脱毛がある動物の 看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
14	動物看護学概論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「かゆみ・脱毛」 2.動物看護過程を用いてかゆみ・脱毛がある動物の 看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5
15	動物看護学概論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「嘔吐・排便異常」 2.動物看護過程を用いて嘔吐・排便異常がある動物 の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎5

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物医療関連法規	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		動物看護師が行う獣医療関連業務とそれを取り巻く法律の仕組みを基礎から理解し獣医療現場および環境関連、動物関連の法律について理解を深める。					
	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容			使用教材
1	動物医療関連法規	工藤	・狂犬病予防法 ・身体障害者補助犬法	・人畜共通感染症の中でも、人に感染すると致死率100%といわれる狂犬病についての知識や法律 ・補助犬の種類や役割、どのような過程で補助犬の資格を得ることができるのかを学習する			愛玩動物飼養管理士教本　1巻
2	動物医療関連法規	工藤	・狂犬病予防法 ・身体障害者補助犬法	・人畜共通感染症の中でも、人に感染すると致死率100%といわれる狂犬病についての知識や法律 ・補助犬の種類や役割、どのような過程で補助犬の資格を得ることができるのかを学習する			愛玩動物飼養管理士教本　1巻
3	動物医療関連法規	工藤	・ペットフード安全法 ・鳥獣の保護及び管理、並びに狩猟の適正化に関する法律	・対象動物の仕分けやこの法律にあたる食品種の理解や規格、基準の理解を深める ・野生動物種の対象、仕分けや輸出入、規正などの理解を深める			愛玩動物飼養管理士教本　1巻
4	動物医療関連法規	工藤	・ペットフード安全法 ・鳥獣の保護及び管理、並びに狩猟の適正化に関する法律	・対象動物の仕分けやこの法律にあたる食品種の理解や規格、基準の理解を深める ・野生動物種の対象、仕分けや輸出入、規正などの理解を深める			愛玩動物飼養管理士教本　1巻
5	動物医療関連法規	工藤	動物関係法令①	動物と法律、飼養動物と関係法令、公衆衛生にかかわる法令を学ぶ。家畜伝染病予防法、検疫に関する法令と畜場法			愛玩動物飼養管理士1巻
6	動物医療関連法規	工藤	動物関係法令②	医薬品医療機器等法、獣医師法、獣医療法、感染症法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、化製場等法			愛玩動物飼養管理士1巻
7	動物医療関連法規	工藤	動物関係法令③	飼育動物の法的地位、飼い主の法的責任、刑法、軽犯罪法、遺失物法、民法、商法			愛玩動物飼養管理士1巻
8	動物医療関連法規	工藤	動物関係法令④	野生動物と関係法令、野生動物の保護に関わる法令、自然環境保全に関わる法令			愛玩動物飼養管理士1巻
9	動物医療関連法規	工藤	家畜衛生行政関連法規	動物全般の伝染性疾病について理解する 家畜伝染病予防法について学ぶ			愛玩動物飼養管理士1巻
10	動物医療関連法規	工藤	家畜衛生行政関連法規	動物全般の伝染性疾病について理解する 家畜伝染病予防法について学ぶ			愛玩動物飼養管理士1巻
11	動物医療関連法規	工藤	動物看護師のための法律	国家資格かと動物看護師のためのあらたな法律の整備について 動物看護師が知っておく必要のある一般法律について			愛玩動物飼養管理士1巻
12	動物医療関連法規	工藤	動物看護師のための法律	国家資格かと動物看護師のためのあらたな法律の整備について 動物看護師が知っておく必要のある一般法律について			愛玩動物飼養管理士1巻
13	動物医療関連法規	工藤	野生動物に関わる関連法規	法の理念と目的を学び野生鳥獣の保護と適正狩猟について学ぶ。			愛玩動物飼養管理士1巻
14	動物医療関連法規	工藤	野生動物に関わる関連法規	法の理念と目的を学び野生鳥獣の保護と適正狩猟について学ぶ。			愛玩動物飼養管理士1巻
15	動物医療関連法規	工藤	総まとめ	獣医療技術者としての動物看護師の位置づけと法律のまとめ			愛玩動物飼養管理士1巻
評価方法		学期末試験　授業態度　提出物					

教科	動物公衆衛生学	1年生	動物看護科	20時間	1コマ	120分	
学習目標		1．公衆衛生とは何か学ぶ 2．滅菌法、消毒法についてを学び、感染予防について理解する 3．犬、猫が関係する人獣共通感染症について学ぶ 4．免疫機構を理解し、犬、猫の感染症のワクチンについて学ぶ 5．動物の衛生に関する法律を学び、感染症の防疫について理解する					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物公衆衛生学	廣田	公衆衛生の目的	1.公衆衛生の目的について学ぶ 2.人獣共通感染症、新興感染症、再興感染症とは何か言えるようになる 3.感染症法について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
2	動物公衆衛生学	廣田	公衆衛生の目的	1.公衆衛生の目的について学ぶ 2.人獣共通感染症、新興感染症、再興感染症とは何か言えるようになる 3.感染症法について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
3	動物公衆衛生学	廣田	公衆衛生の目的	1.公衆衛生の目的について学ぶ 2.人獣共通感染症、新興感染症、再興感染症とは何か言えるようになる 3.感染症法について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
4	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	2.感染症の管理について学ぶ(1) ①感染症の制御と感染成立３要素との関係を理解する ②院内感染について学ぶ ③予防ワクチンについて学ぶ ④免疫について理解し直す	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
5	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	2.感染症の管理について学ぶ(1) ①感染症の制御と感染成立３要素との関係を理解する ②院内感染について学ぶ ③予防ワクチンについて学ぶ ④免疫について理解し直す	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
6	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ(2) ①滅菌と消毒の違いを理解する ②滅菌法の特徴について学ぶ ③それぞれの滅菌法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
7	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ(2) ①滅菌と消毒の違いを理解する ②滅菌法の特徴について学ぶ ③それぞれの滅菌法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
8	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ(3) ①消毒法の特徴について学ぶ ②それぞれの消毒法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
9	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ(3) ①消毒法の特徴について学ぶ ②それぞれの消毒法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
10	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1感染症の管理について学ぶ(4) ①消毒法の特徴について学ぶ ②それぞれの消毒法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス

評価方法	学期末試験・授業態度

教科	動物公衆衛生学	2年生	動物看護科	40時間	1コマ	120分	
学習目標		1．公衆衛生とは何か学ぶ 2．滅菌法、消毒法についてを学び、感染予防について理解する 3．犬、猫が関係する人獣共通感染症について学ぶ 4．免疫機構を理解し、犬、猫の感染症のワクチンについて学ぶ 5．動物の衛生に関する法律を学び、感染症の防疫について理解する					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ(4) ①消毒法の特徴について学ぶ ②それぞれの消毒法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
2	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ() ①それぞれの消毒法に適応する対象物を理解する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
3	動物公衆衛生学	廣田	感染症の管理	1.感染症の管理について学ぶ() ①それぞれの消毒法に適応する対象物を理解する 2.滅菌法、消毒法に関する小テスト	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
4	動物公衆衛生学	廣田	人獣共通感染症	1.公衆衛生の目的について学ぶ 2.人獣共通感染症、新興感染症、再興感染症とは何か言えるようになる 3.感染症法について学ぶ 4.細菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
5	動物公衆衛生学	廣田	人獣共通感染症	1.公衆衛生の目的について学ぶ 2.人獣共通感染症、新興感染症、再興感染症とは何か言えるようになる 3.感染症法について学ぶ 4.細菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
6	動物公衆衛生学	廣田	主な細菌	1.主な細菌感染症について学ぶ ①サルモネラ感染症　②緑膿菌感染症　③パスツレラ症　④レプトスピラ症　⑤ブルセラ症　⑥歯周病　⑦ボルデテラ症　⑧ライム病　⑨カンピロバクター症　⑩破傷風　⑪結核 2.細菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
7	動物公衆衛生学	廣田	主な細菌	1.主な細菌感染症について学ぶ ①サルモネラ感染症　②緑膿菌感染症　③パスツレラ症　④レプトスピラ症　⑤ブルセラ症　⑥歯周病　⑦ボルデテラ症　⑧ライム病　⑨カンピロバクター症　⑩破傷風　⑪結核 2.細菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
8	動物公衆衛生学	廣田	特殊細菌	1.特殊細菌による感染症 ①マイコプラズマ感染　②猫のクラミジア症　③鳥クラミジア症　④犬のリケッチア感染症 2.特殊細菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
9	動物公衆衛生学	廣田	特殊細菌	1.特殊細菌による感染症 ①マイコプラズマ感染　②猫のクラミジア症　③鳥クラミジア症　④犬のリケッチア感染症 2.特殊細菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
10	動物公衆衛生学	廣田	真菌感染	1.犬･猫の主な真菌感染症 ①皮膚糸状菌症　②マラセチア症　③クリプトコッカス症 2.真菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス

11	動物公衆衛生学	廣田	真菌感染	1.犬･猫の主な真菌感染症 ①皮膚糸状菌症　②マラセチア症　③クリプトコッカス症 2.真菌による人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
12	動物公衆衛生学	廣田	細菌、真菌まとめ	1.細菌、特殊細菌、真菌感染症のまとめ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
13	動物公衆衛生学	廣田	細菌、真菌まとめ	1.細菌、特殊細菌、真菌感染症のまとめ 2.小テスト	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
14	動物公衆衛生学	廣田	ウィルス感染	1.主なウイルス感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
15	動物公衆衛生学	廣田	ウィルス感染	1.主なウイルス感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
16	動物公衆衛生学	廣田	ウィルス感染	1.ウイルスによる人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
17	動物公衆衛生学	廣田	ウィルス感染	1.ウイルスによる人獣共通感染症について学ぶ	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
18	動物公衆衛生学	廣田	人獣共通感染症	1.人獣共通感染症について復習する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
19	動物公衆衛生学	廣田	人獣共通感染症	1.人獣共通感染症について復習する	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
20	動物公衆衛生学	廣田	公衆衛生学	1.公衆衛生学　小テスト	動物看護コアカリキュラム３ 動物の疾病と予防および回復 ファームプレス
評価方法			学期末試験・授業態度		

教科	動物人間関係学	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係を心理的および社会位学的側面から理解する。						

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物人間関係学	工藤	人間と動物の関わり	現在の日本愛玩動物協会に至る流れがどの様な仕組みで協会が成り立っているのかを知り、動物愛護に対して考えてみる。また、飼養管理士資格の重要性や求められているものを理解し、資格取得者の立場を把握する	愛玩動物飼養管理士教本
2	動物人間関係学	工藤	動物愛護論（歴史）①	日本人の動物観と西洋人の動物観の違いや、動物愛護の考えがどのように変化していったかを2講義にわたり学習する	愛玩動物飼養管理士教本
3	動物人間関係学	工藤	動物愛護論（歴史）②	日本人の動物観と西洋人の動物観の違いや、動物愛護の考えがどのように変化していったかを3講義にわたり学習する	愛玩動物飼養管理士教本
4	動物人間関係学	工藤	・人と動物の関係学 ・動物関係法令	多種多様な動物種と人間が共生していく上でのメリット、デメリットを認識したうえで動物に関わる関係法令の制定に至る過程を学習する。また、子供の教育における動物飼養の効果についても学習する	愛玩動物飼養管理士教本
5	動物人間関係学	工藤	動物の愛護及び管理に関する法律の関係法令体系と法律の制定及び改正の経緯	人と動物の関係の変化に対応してきた法律の制定から改正に至る経緯を学習し、分野ごとに定められる基準や細目ごとにそれぞれの対象動物の仕分け、内容の学習	愛玩動物飼養管理士教本
6	動物人間関係学	工藤	動物の介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物との接触が人間に与える身体的・心理的影響を理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
7	動物人間関係学	工藤	動物の介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在活動の目的と内容について理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
8	動物人間関係学	工藤	動物の介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在療法の目的と内容について理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
9	動物人間関係学	工藤	動物の介在活動・動物介在療法・動物介在教育	動物介在教育の目的と内容について理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
10	動物人間関係学	工藤	使役動物	使役動物の歴史と福祉について理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
11	動物人間関係学	工藤	使役動物	補助犬の定義、歴史を理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
12	動物人間関係学	工藤	使役動物	補助犬の育成過程や適正について理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
13	動物人間関係学	工藤	伴侶動物の飼育	伴侶動物飼育の現状を理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
14	動物人間関係学	工藤	伴侶動物の飼育	伴侶動物飼育によって人間が受けた恩恵と問題点を理解する。	愛玩動物飼養管理士教本
15	動物人間関係学	工藤	伴侶動物の飼育	伴侶動物の適正飼育を推進するために必要な手段を理解する。	愛玩動物飼養管理士教本

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物福祉・倫理	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標	動物愛護や動物福祉（アニマルウェルフェア）およびその基礎となる生命倫理の考え方について学ぶ。						

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物福祉・倫理	今木	生命倫理の概念	生命倫理の考え方について理解する。	配布資料
2	動物福祉・倫理	今木	生命倫理の概念	生命倫理と獣医療の関わりについて理解する。	
3	動物福祉・倫理	今木	動物福祉の概念	動物福祉の考え方を理解する。	
4	動物福祉・倫理	今木	動物福祉の概念	「5つの自由」を理解する。 近代および現代の動物愛護運動について理解する。	
5	動物福祉・倫理	今木	動物福祉の概念	動物の権利、動物福祉思想について理解する。 動物福祉に関する法と行政の仕組みの概要を理解する。 安楽死の考え方について理解する。	
6	動物福祉・倫理	今木	伴侶動物の福祉	伴侶動物の適正飼育と福祉上の問題について理解する。 動物保護活動の現状と課題を理解する。	
7	動物福祉・倫理	今木	伴侶動物の福祉	飼育法規や殺処分問題、対策について理解する。	
8	動物福祉・倫理	今木	伴侶動物の福祉	動物虐待の定義と現状、対策について理解する。	
9	動物福祉・倫理	今木	伴侶動物の福祉	飼育動物の災害時の対応について理解する。	
10	動物福祉・倫理	今木	産業動物の福祉	産業動物における福祉の問題について理解する。	
11	動物福祉・倫理	今木	産業動物の福祉	産業動物の福祉を向上させるための具体方法を理解する。	
12	動物福祉・倫理	今木	実験動物の福祉	実験動物における福祉の問題について理解する。	
13	動物福祉・倫理	今木	実験動物の福祉	3Rの概念と具体的方法を理解する。	
14	動物福祉・倫理	今木	展示動物の福祉	展示動物における福祉の問題について理解する。	
15	動物福祉・倫理	今木	展示動物の福祉	展示動物に対する環境エンリッチメントの種類と内容を理解する。	

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物行動学	1年	動物看護科	34時間	1コマ	120分	
学習目標		イヌやネコの発生起源、種類による特徴を理解し基本的行動から適正飼育、しつけ方法などを理解し動物の看護と飼い主指導に活かす。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物行動学	小田	動物行動学の基礎	動物行動学とは何か、動物行動学の基礎、歴史を学ぶ。	
2	動物行動学	小田	犬の進化と家畜化①	犬と人とはいつ頃から付き合いがあるのか。また、家畜化によってどのように変化したのか。 家畜化していく上で作出された犬種について学ぶ	
3	動物行動学	小田	猫の進化と家畜化①	リビアヤマネコがどのようにしてイエネコになったのか。家畜化していく理由などについて学ぶ	
4	動物行動学	小田	犬の発達行動学①	犬の発達行動を継時的に学ぶ。とくになぜ社会化期が重要なのかを学ぶ。 発達行動に影響を与える遺伝的な因子について学ぶ	
5	動物行動学	小田	犬の発達行動学③	発達行動に影響を与える環境の因子について学ぶ 犬の感覚について学ぶ	
6	動物行動学	小田	犬のコミュニケーション行動①	犬のコミュニケーション行動を理解する。	
7	動物行動学	小田	犬のコミュニケーション行動②	犬の表情、ボディランゲージを理解する	
8	動物行動学	小田	猫の発達行動学①	猫の発達行動を継時的に学ぶ 猫の発達行動を摂食行動、捕食行動から学ぶ	
9	動物行動学	小田	犬の社会的行動①	他のイヌ科動物や野犬の社会行動から犬について考える。	
10	動物行動学	小田	犬の社会的行動②	犬の視覚、嗅覚、発声、触覚によるコミュニケーションについて学ぶ	
11	動物行動学	小田	犬の社会的行動④	犬の繁殖行動について学ぶ	
12	動物行動学	小田	犬の社会的行動⑤	犬と人との関係について学ぶ	
13	動物行動学	小田	猫の社会的行動①	単独で暮らすイエネコが集団でもくらせる理由を学ぶ 猫同士の社会的相互作用について学ぶ	
14	動物行動学	小田	猫の社会的行動③	猫の視覚、発声によるコミュニケーションについて学ぶ	
15	動物行動学	小田	猫の社会的行動④	猫の嗅覚によるコミュニケーションを学ぶ	
16	動物行動学	小田	猫の社会的行動⑤	猫の繁殖行動について学ぶ	
17	動物行動学	小田	猫のコミュニケーション行動①	猫のコミュニケーション行動を理解する。	

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物行動学	2年	動物看護科	10時間	1コマ	120分	
学習目標		イヌやネコの発生起源、種類による特徴を理解し基本的行動から適正飼育、しつけ方法などを理解し動物の看護と飼い主指導に活かす。					
	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容		使用教材	
1	動物行動学	小田	猫のコミュニケーション行動②	猫の表情、ボディランゲージを理解する			
2	動物行動学	小田	行動の学習原理①	古典的条件付けについて学ぶ			
3	動物行動学	小田	行動の学習原理②	オペラント条件付け、罰の副作用について学ぶ			
4	動物行動学	小田	行動の学習原理③	問題行動の原因、治療について考える			
5	動物行動学	小田	行動の学習原理④	問題行動を解決する方法を実践的に考える			
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物					

教科	伴侶動物学	1年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標	愛玩動物として飼育されている犬や猫をはじめ、ウサギ、ハムスター、小鳥や両生類などの生態や飼育方法を学ぶ。、動物福祉をふまえた飼育管理方法を理解することを目標とする。						

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	伴侶動物学	工藤	小動物の飼育法①	ペットとショップでよく見る小動物の飼育・管理方法について学習する	愛玩動物飼養管理士教本
2	伴侶動物学	工藤	小動物の飼育法②	ペットとショップでよく見る小動物の飼育・管理方法について学習する	愛玩動物飼養管理士教本
3	伴侶動物学	工藤	小動物の飼育法③	ペットとショップでよく見る小動物の飼育・管理方法について学習する	愛玩動物飼養管理士教本
4	伴侶動物学	廣田	動物の疾病とその予防	感染症の病原体と予防の基礎知識について学習する	愛玩動物飼養管理士教本
5	伴侶動物学	廣田	動物の疾病とその予防	犬・猫の疾病とその予防について学習する	愛玩動物飼養管理士教本
6	伴侶動物学	廣田	動物の疾病とその予防	犬・猫の疾病とその予防について学習する	愛玩動物飼養管理士教本
7	伴侶動物学	工藤	動物の行動と社会①	行動とは何か、社会とは何か。行動の進化。行動と社会の生態学的側面	愛玩動物飼養管理士教本
8	伴侶動物学	工藤	動物の行動と社会②	行動とは何か、社会とは何か。行動の進化。行動と社会の生態学的側面	愛玩動物飼養管理士教本
9	伴侶動物学	工藤	動物の行動と社会③	犬と猫の行動と社会。犬と猫のコミュニケーション。問題行動とその予防と対策	愛玩動物飼養管理士教本
10	伴侶動物学	片桐	動物の遺伝	DNA、遺伝法則、遺伝に関連した疾患などを学習する	愛玩動物飼養管理士教本
11	伴侶動物学	片桐	動物の遺伝	DNA、遺伝法則、遺伝に関連した疾患などを学習する	愛玩動物飼養管理士教本
12	伴侶動物学	片桐	動物の繁殖整理	犬猫、その他の哺乳類、鳥類の繁殖整理を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
13	伴侶動物学	片桐	動物の繁殖整理	犬猫、その他の哺乳類、鳥類の繁殖整理を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
14	伴侶動物学	若山	ウサギとハムスター、モルモットの飼養管理	分類や歴史、形態的特徴を学び、適正な飼養方法について理解する	愛玩動物飼養管理士教本
15	伴侶動物学	鎌田	ウサギとハムスター、モルモットの飼養管理	ウサギの健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
16	伴侶動物学	鎌田	ウサギとハムスター、モルモットの飼養管理	ゴールデンハムスターとジャンガリアンハムスターの健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
17	伴侶動物学	鎌田	ウサギとハムスター、モルモットの飼養管理	モルモットの健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
18	伴侶動物学	若山	フェレットとチンチラの飼養管理	分類や歴史、形態的特徴を学び、適正な飼養方法について理解する	愛玩動物飼養管理士教本
19	伴侶動物学	鎌田	フェレットとチンチラの飼養管理	フェレットの健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本

20	伴侶動物学	鎌田	フェレットとチンチラの飼養管理	チンチラの健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
21	伴侶動物学	鎌田	鳥類と爬虫類の飼養管理	鳥類の健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
22	伴侶動物学	鎌田	鳥類と爬虫類の飼養管理	鳥類・爬虫類の健康管理、疾病を学習する	愛玩動物飼養管理士教本
23	伴侶動物学	若山	鳥類の飼養管理	形態的特徴を学び、季節にあった栄養と飼養管理について理解する	愛玩動物飼養管理士教本
24	伴侶動物学	若山	鳥類の飼養管理	分類ごとの特徴を理解し、飼養方法を学ぶ	愛玩動物飼養管理士教本
25	伴侶動物学	若山	爬虫類の飼養管理	トカゲ目、ワニ目、カメ目の特徴と飼養方法について学ぶ	愛玩動物飼養管理士教本
26	伴侶動物学	若山	爬虫類の飼養管理	有鱗目トカゲ類、ヘビ類の特徴と飼養方法について学ぶ	愛玩動物飼養管理士教本
27	伴侶動物学	若山	肉食動物、草食動物、鳥類の形態機能	肉食動物、草食動物、鳥類の形態機能の比較	愛玩動物飼養管理士教本
28	伴侶動物学	若山	肉食動物、草食動物、鳥類の形態機能	肉食動物、草食動物、鳥類の形態機能の比較	愛玩動物飼養管理士教本
29	伴侶動物学	若山	展示動物の飼育方法	環境エンリッチメントによる飼育管理	愛玩動物飼養管理士教本
30	伴侶動物学	若山	展示動物の飼育方法	環境エンリッチメントによる飼育管理	愛玩動物飼養管理士教本
評価方法		学期末試験　授業態度　提出物			

教科	産業動物学	2年	動物看護科	48時間	1コマ	120分	

学習目標	産業動物の基礎知識と畜産としての酪農を学ぶ。 産業動物の歴史や品種を理解する。畜産産業と社会の関わりについて学ぶ。 産業動物として、飼育されている主な家畜の使用方法について学習し「5つの自由」を遵守した飼育方法理解数する。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	産業動物学	濱本	産業動物の定義と特徴	人間生活に有用な価値をもたらす動物、生産物やその能力を人が利用するために飼育している動物	動物の行動と健康管理
2	産業動物学	濱本	産業動物の定義と特徴	人間生活に有用な価値をもたらす動物、生産物やその能力を人が利用するために飼育している動物	動物の行動と健康管理
3	産業動物学	濱本	産業動物として用いられる動物種	牛の歴史	動物の行動と健康管理
4	産業動物学	濱本	産業動物として用いられる動物種	牛の体の仕組み	動物の行動と健康管理
5	産業動物学	濱本	産業動物として用いられる動物種	牛の特徴的な体の仕組み	動物の行動と健康管理
6	産業動物学	濱本	産業動物として用いられる動物種	牛の特徴的な体の仕組み	動物の行動と健康管理
7	産業動物学	濱本	産業動物として用いられる動物種	牛の繁殖	動物の行動と健康管理
8	産業動物学	若山	産業動物として用いられる動物種	馬の歴史	動物の行動と健康管理
9	産業動物学	若山	産業動物として用いられる動物種	馬の体の仕組み	動物の行動と健康管理
10	産業動物学	若山	産業動物として用いられる動物種	馬の特徴的な体の仕組み	動物の行動と健康管理
11	産業動物学	若山	産業動物として用いられる動物種	馬の繁殖	動物の行動と健康管理
12	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	豚の歴史	動物の行動と健康管理
13	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	豚の体の仕組み	動物の行動と健康管理
14	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	豚の特徴的な体の仕組み	動物の行動と健康管理
15	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	豚の繁殖	動物の行動と健康管理
16	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	鶏の歴史	動物の行動と健康管理
17	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	鶏の体の仕組み	動物の行動と健康管理
18	産業動物学	鎌田	産業動物として用いられる動物種	鶏の繁殖	動物の行動と健康管理
19	産業動物学	片桐	産業動物として用いられる動物種	ヤギ・羊の歴史	動物の行動と健康管理
20	産業動物学	片桐	産業動物として用いられる動物種	ヤギ・羊の体の仕組み	動物の行動と健康管理
21	産業動物学	片桐	産業動物として用いられる動物種	ヤギ・羊の繁殖	動物の行動と健康管理
22	産業動物学	若山	産業動物として用いられる動物種	分類ごとの特徴を理解し、飼養方法を学ぶ	動物の行動と健康管理
23	産業動物学	濱本	酪農産業とは	酪畜産業の基礎、畜産業界を取り巻く情勢	動物の行動と健康管理
24	産業動物学	濱本	酪農産業とは	飼養衛生管理基準について	動物の行動と健康管理

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	実験動物学	2年	動物看護科	14時間	1コマ	120分	

学習目標	実験動物の歴史や品種、飼育管理法、実験動物との関わりについて学ぶ。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	実験動物学	若山	実験動物の定義	実験動物とは試験、実験、研究、教育、生物学的製剤の製造、その他化学上の使用の為合目的に繁殖生産した動物であることを学ぶ。	動物の行動と健康管理
2	実験動物学	若山	実験動物の定義	実験動物とは試験、実験、研究、教育、生物学的製剤の製造、その他化学上の使用の為合目的に繁殖生産した動物であることを学ぶ。	動物の行動と健康管理
3	実験動物学	若山	実験動物の種類	マウス、ラット、モルモット、スナネズミ、ハムスター、フェレット、ｳｻｷﾞ、イヌ、ミニブタ	動物の行動と健康管理
4	実験動物学	若山	遺伝的コントロール	再現性を高める為高い遺伝子構成の同一性が求められていることを学ぶ。	動物の行動と健康管理
5	実験動物学	若山	衛生学的・環境コントロール	微生物コントロールにより清浄度の高い順に無菌動物、ノトバイオ、SPF動物などの分類を理解する。 環境要因も大きく影響を与えることを学ぶ。	動物の行動と健康管理
6	実験動物学	若山	実験動物の福祉	「3つのR」成り立ちと定義を学ぶ。	動物の行動と健康管理
7	実験動物学	若山	飼育管理法	飼育管理法を学ぶ	動物の行動と健康管理

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	野生動物学	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	

学習目標	さまざまな動物の特徴と人との関わりを理解する。 日本の野生動物の種類と保全、動物園等の展示動物について学ぶ。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	野生動物学	濱本	野生動物の定義と特徴	野生動物の野生、飼育動物の野生の違い	動物の行動と健康管理
2	野生動物学	濱本	野生動物の定義と特徴	野生動物の条件、自然選択と人為選択 野生とは何か	動物の行動と健康管理
3	野生動物学	濱本	野生動物の種類と分布	日本に生息する野生動物	動物の行動と健康管理
4	野生動物学	濱本	野生動物の食性	草原性動物、森林性動物、荒原性動物	動物の行動と健康管理
5	野生動物学	濱本	野生動物の食性	草原性動物、森林性動物、荒原性動物	動物の行動と健康管理
6	野生動物学	濱本	外来動物	外来生物/外来種/侵入生物/侵入種/ 移入生物/移入種について学ぶ。	動物の行動と健康管理
7	野生動物学	濱本	外来動物	外来生物/外来種/侵入生物/侵入種/ 移入生物/移入種について学ぶ。	動物の行動と健康管理
8	野生動物学	濱本	展示動物の定義	基本的な考え、種類の選択、繁殖、終生飼育	動物の行動と健康管理
9	野生動物学	濱本	展示動物の定義	基本的な考え、種類の選択、繁殖、終生飼育	動物の行動と健康管理
10	野生動物学	濱本	鳥獣害	野生鳥獣による被害概要。被害の現状と対策	動物の行動と健康管理
11	野生動物学	濱本	鳥獣害	野生鳥獣による被害概要。被害の現状と対策	動物の行動と健康管理
12	野生動物学	濱本	保全	保護し安全であるようにすること。	動物の行動と健康管理
13	野生動物学	濱本	絶滅危惧種とレッドリスト	絶滅危惧種、レッドリストについて理解する。	動物の行動と健康管理
14	野生動物学	濱本	動物園の役割	種の保全、教育・環境教育、調査・研究・ リクレーション	動物の行動と健康管理
15	野生動物学	濱本	動物園の役割	種の保全、教育・環境教育、調査・研究・ リクレーション	動物の行動と健康管理

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物内科看護学	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な基礎知識を学び身体検査や採血、投薬、輸液、輸血などについて学ぶ。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物内科看護学	古山	犬と猫の健康とは何か	犬や猫の健康状態を理解し実際の動物を使用し個体の観察を行う。	
2	動物内科看護学	古山	バイタルサインとは何か	犬猫のバイタルサインを理解し正常と異常の違いを理解する。	
3	動物内科看護学	古山	バイタルサインと体重測定	犬猫のバイタルサインと体重を実際に計り正常と異常の違いを理解する。	
4	動物内科看護学	古山	一般的な管理	一般的な動物の飼育管理を理解する。	
5	動物内科看護学	古山	一般的な管理	一般的な動物の飼育管理を理解し、実際に使用する動物の飼育環境の確認と整備をする。	
6	動物内科看護学	古山	被毛や皮膚の管理	体表や皮膚の部位・毛色などを理解する。	
7	動物内科看護学	古山	被毛や皮膚の管理	体表や皮膚の部位・毛色などを理解し、健康な状態での被毛の管理を理解する。	
8	動物内科看護学	古山	運動の管理	散歩、個体に適した運動量の算出、安全な歩かせ方、歩行異常の見極めなど。	
9	動物内科看護学	古山	排泄の管理	衛生的な排泄、排泄による健康管理を理解する。	
10	動物内科看護学	古山	病気の早期発見のための管理	健常時と異常時のしぐさを理解する。	
11	動物内科看護学	古山	病気の早期発見のための管理	容態の違いを知る。	
12	動物内科看護学	古山	定期的な健康診断	定期的な検査（体重測定、尿検、検便、血液検査）等を理解する。	
13	動物内科看護学	古山	動物看護師が行う動物病院での診療補助	保定を理解する。保定をする意味を理解し、保定の種類を覚える。	
14	動物内科看護学	古山	動物看護師が行う動物病院での診療補助	保定を理解する。動物種による適切な保定。	
15	動物内科看護学	古山	動物看護師が行う動物病院での診療補助	保定を理解する。獣医学的な処置に適した保定。	

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物外科看護学	1年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標		外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し安全な手術の実施に必要な知識を修得する。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物外科看護学	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。	
2	動物外科看護学	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。	
3	動物外科看護学	立花	無菌操作の重要性の確認	手術時、手指を清潔に保つ必要があることを学び実際に手洗い方法を実践する。	
4	動物外科看護学	立花	無菌操作の重要性の確認	無菌的なマスク・ガウン・グローブの装着を行い無菌操作の必要性を確認する。	
5	動物外科看護学	立花	手術前の動物に必要情報、アセスメント、飼い主に必要な指示を知る。	犬、猫の避妊手術時に必要な情報を飼い主から聞きとる方法を身に付ける。	
6	動物外科看護学	立花	手術前の動物に必要情報、アセスメント、飼い主に必要な指示を知る。	犬、猫の避妊手術時に必要な指示を飼い主に伝える方法を身に付ける。	
7	動物外科看護学	立花	手術室の環境管理	手術室だけではなく手術に使用する器具や機器などの手入れ管理方法などを学ぶ。	
8	動物外科看護学	立花	手術室の環境管理	機器の正常な茶道を確認し、酸素ボンベ、麻酔器、その他の配置を考え実際に使用するように設置する。	
9	動物外科看護学	立花	滅菌と消毒の実践	手術時に必要な滅菌、消毒の概念を理解する。	
10	動物外科看護学	立花	滅菌と消毒の実践	滅菌、消毒の概念を理解したうえで用途に合わせた滅菌、消毒方法を学ぶ。	
11	動物外科看護学	立花	手術施設、設備の準備と管理	機材の管理方法を確認し消耗品の管理と保存管理の現状を学ぶ。	
12	動物外科看護学	立花	手術施設、設備の準備と管理	衛生的な管理と清掃、機器の管理と消耗品管理、ストックの重要性を学ぶ。	
13	動物外科看護学	立花	術者に必要な準備	手洗いの技術、キャップ、マスク、ガウンの着脱の正しい手順を学ぶ。	
14	動物外科看護学	立花	術者に必要な準備	グローブの装着、無菌の意味と触れてはいけない範囲を学ぶ。	
15	動物外科看護学	立花	手術チームの準備	無菌、滅菌、消毒の知識学ぶ。	

16	動物外科看護学	立花	手術チームの準備	無菌、滅菌、消毒の知識学ぶ。	
17	動物外科看護学	立花	手術器具の準備と 基礎知識	器具の名称と役割を学ぶ。	
18	動物外科看護学	立花	手術器具の準備と 基礎知識	適材適所の用途、落ち度のない準備のためのチェック表活用方法、縫合材料の確認、消耗品管理を学ぶ。	
19	動物外科看護学	立花	消耗品管理の重要性	在庫管理の重要性、使用後使用前チェック、チェック表の活用方法を学ぶ。	
20	動物外科看護学	立花	消耗品管理の重要性	在庫管理の重要性、使用後使用前チェック、チェック表の活用方法を学ぶ。	
21	動物外科看護学	立花	術前、術中の動物管理と看護	手術前の検査の有無を学び個体に合わせた検査方法を決定していく。	
22	動物外科看護学	立花	術前、術中の動物管理と看護	術前の食止め、飲水、排尿量管理について学ぶ。	
23	動物外科看護学	立花	術前、術中の動物管理と看護	術前の鎮痛処置について基礎知識を知り、痛みの管理について学ぶ。	
24	動物外科看護学	立花	術中の補助	動物看護師の関わる業務として外回り（間接的な補助者）五感をつかったモニタリング、バイタルチェックを学ぶ。	
25	動物外科看護学	立花	術中の補助	直接的な補助者としての役割を学ぶ。	
26	動物外科看護学	立花	術中麻酔に関する基礎	麻酔のモニタリングと機器の知識を学ぶ。	
27	動物外科看護学	立花	術中麻酔に関する基礎	麻酔導入から覚醒までの補助に必要な知識と麻酔記録を学ぶ。	
28	動物外科看護学	立花	術後の管理	安全確保、動物の観察と看護、痛みの観察をと管理、痛みの知識を学ぶ。	
29	動物外科看護学	立花	衛生管理	包帯法の基礎知識、術創の保護に必要な知識、創傷管理のための器材（ネット・カラーなど）を学ぶ。	
30	動物外科看護学	立花	救命救急処置	生命徴候のアセスメント、救命方法の知識、気管内挿管の知識を学ぶ。	
評価方法			学期末試験・授業態度・提出物		

教科	動物臨床看護学総論	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	

学習目標	動物の臨床看護に必要な知識を修得する。 動物看護の一連のプロセスを学び、事例ごとの個別性に重きを置いた動物看護の基本的な考え方を修得する。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物臨床看護学総論	濱本	動物看護過程の流れ	1.要素2.動物看護診断、要素 3.動物看護計画	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
2	動物臨床看護学総論	濱本	動物看護過程の流れ	1.要素2.動物看護診断、要素 3.動物看護計画	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
3	動物臨床看護学総論	濱本	動物看護過程の流れ	1.要素２.動物看護実践、動物看護評価	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎６
4	動物臨床看護学総論	濱本	動物看護過程の流れ	1.要素２.動物看護実践、動物看護評価	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎６
5	動物臨床看護学総論	濱本	QOL	1.QOLについて。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎７
6	動物臨床看護学総論	濱本	QOL	1.QOLについて。	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎７
7	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「痛み」　2.動物看護過程を用いて断脚手術を受ける動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
8	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「痛み」 2.動物看護過程を用いて断脚手術を受ける動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
9	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「痛み」 2.動物看護過程を用いて断脚手術を受ける動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
10	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「かゆみ・脱毛」 2.動物看護過程を用いてかゆみ・脱毛がある動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
11	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「かゆみ・脱毛」 2.動物看護過程を用いてかゆみ・脱毛がある動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
12	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「かゆみ・脱毛」 2.動物看護過程を用いてかゆみ・脱毛がある動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
13	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「嘔吐・排便異常」 2.動物看護過程を用いて嘔吐・排便異常がある動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
14	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「嘔吐・排便異常」 2.動物看護過程を用いて嘔吐・排便異常がある動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５
15	動物臨床看護学総論	若山 濱本	動物看護過程の実践	1.症状別の動物看護「嘔吐・排便異常」 2.看護過程を用いて嘔吐・排便異常がある動物の看護をGWで考え発表する	動物看護コアテキスト 動物看護の基礎５

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物臨床看護学各論	1年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標		さまざまな疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。各々の機能障害をもつ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物臨床看護学各論	林	正しい診断へのステップ	バイタルサイン、体重、全身検査、動物の一般状態の把握方法について理解する。	
2	動物臨床看護学各論	林	循環器疾患	循環器系の形態と機能、循環器の疾患の問診、症状、検査を理解する。うっ血性心不全について学ぶ	
3	動物臨床看護学各論	林	循環器疾患	うっ血性心不全の診断法、治療法を理解する。ショック概要を理解しその診断、治療法を理解する。	
4	動物臨床看護学各論	林	循環器疾患	犬糸状虫の概要を学び、治療、予防法を理解する。先天性循環器疾患の種類を理解する。	
5	動物臨床看護学各論	林	呼吸器系疾患	呼吸器系の形態と機能、呼吸器系の問診法、特徴的症状、検査について理解する。	
6	動物臨床看護学各論	林	呼吸器系疾患	各種呼吸器系疾患についてその概要、治療法などを理解する。鼻汁、くしゃみ、咳、ケンネルコフなどを理解する。猫の上部気道感染症候群を理解する。	
7	動物臨床看護学各論	林	呼吸器系疾患	各種呼吸器系疾患についてその概要、治療法などを理解する。肺炎、水胸、膿胸、血胸、肺水腫、気胸、肺気腫、気管虚脱について理解する。	
8	動物臨床看護学各論	林	消化器系疾患	消化器系の形態と機能、消化器系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。各種消化器疾患についてその概要、治療法などを理解する。嚥下困難、流涎、口臭、吐出、下痢、血便、下血について理解する。	
9	動物臨床看護学各論	林	消化器系疾患	各種消化器系疾患についてその概要、治療法などを理解する。便秘、歯周疾患、巨大食道症、胃食道逆流症、胃炎、胃拡張、胃捻転、毛球症、ウィルス性腸炎、細菌性腸炎について理解する。	
10	動物臨床看護学各論	林	消化器系疾患	各種消化器系疾患についてその概要、治療法などを理解する。腸管内寄生虫による腸炎、イレウス、腸管のヘルニア、肛門嚢炎、腹膜炎について理解する。	
11	動物臨床看護学各論	林	肝胆道系･膵外分泌系疾患	肝臓と膵臓の形態と機能を理解する。	
12	動物臨床看護学各論	林	肝胆道系･膵外分泌系疾患	肝胆道系･膵外分泌系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。各種肝胆道系疾患についてその概要治療法を理解する。黄疸、腹部膨満、肝性脳症、進行性慢性肝炎について理解する。	
13	動物臨床看護学各論	林	肝胆道系･膵外分泌系疾患	感染性肝炎、薬物や毒物による肝炎、肝リピドーシス、膵炎、膵外分泌不全について理解する。	
14	動物臨床看護学各論	林	泌尿器系疾患	泌尿器系の形態と機能を理解する。	
15	動物臨床看護学各論	林	泌尿器系疾患	泌尿器系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。各種泌尿器系疾患についてその概要、治療法などを理解する。排尿異常、多喝･多尿について理解する。	

16	動物臨床看護学各論	林	泌尿器系疾患	腎不全、猫の下部尿路疾患、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、腎性尿崩症、排尿障害、犬の尿石症について理解する。	
17	動物臨床看護学各論	林	内分泌系疾患	内分泌系の形態と機能を理解する。副腎、膵臓、甲状腺について理解する。	
18	動物臨床看護学各論	林	内分泌系疾患	各種内分泌系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。甲状腺機能低下症、糖尿病について理解する。	
19	動物臨床看護学各論	林	内分泌系疾患	副腎皮質機能亢進症、副腎皮質機能低下症について理解する。	
20	動物臨床看護学各論	林	生殖機能系疾患	生殖機能系の形態と機能を理解する。	
21	動物臨床看護学各論	林	生殖機能系疾患	生殖機能系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。子宮蓄膿症、乳腺腫瘍、子癇、前立腺肥大について理解する。	
22	動物臨床看護学各論	林	血液・リンパ系疾患	血液・リンパ系疾患の形態と機能を理解する。	
23	動物臨床看護学各論	林	血液・リンパ系疾患	血症、細胞成分、リンパ系、血液・リンパ系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。血液塗抹の基本を理解する。	
24	動物臨床看護学各論	林	血液・リンパ系疾患	貧血、再生性貧血、非再生性貧血を理解する。	
25	動物臨床看護学各論	林	神経系疾患	神経系疾患の形態と機能を理解する。	
26	動物臨床看護学各論	林	神経系疾患	大脳、脊髄、ニューロン、神経性疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。椎間板ヘルニア、水頭症について理解する。	
27	動物臨床看護学各論	林	眼科系疾患	眼科系疾患の形態と機能を理解する。	
28	動物臨床看護学各論	林	眼科系疾患	眼科系疾患の問診法、特徴的症状、検査について理解する。結膜炎、核膜炎、水晶体疾患について理解する。	
29	動物臨床看護学各論	林	担がん動物の看護	腫瘍髄伴症候群、悪液質、治療法の種類について理解する。	
30	動物臨床看護学各論	林	高齢動物の看護	身体の加齢の変化、生活改善指導について理解する。	
評価方法		学期末試験　授業態度　提出物			

教科	動物臨床看護学各論	2年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標		循環器系、呼吸器系、消化器系を主とした疾患に対して、動物看護過程をふまえた動物看護介入について理解することを目的とする。 授業の流れは、循環器系、呼吸器系、消化器系の疾患とともにこれらと関連する脳神経系疾患、筋骨格系疾患、リハビリテーション、泌尿器系疾患、生殖器系疾患、内分泌系疾患、皮膚疾患、感染症および症状を合わせて、総合的に多角的に説明していくこととする。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	Ⅰ. 動物看護の概念	今木	動物看護とは何か	1.動物看護とは何か 2.動物看護の活動の4要素 3.動物看護に対する考え方の広がり	ファームプレス6巻
2	Ⅱ. 健康	今木	健康とは何か	1.健康の成立要因 2..総合保険獣医療	ファームプレス6巻
3	Ⅲ. 一般身体検査	今木	一般身体検査とは何か	1.一般身体検査 2.診察の流れ 3.問診 4.体重測定	ファームプレス6巻
4	Ⅲ. 一般身体検査	今木	一般身体検査とは何か	5.バイタルサイン(1)呼吸数 (2)脈拍数 (3)体温	ファームプレス6巻
5	Ⅳ. 動物看護過程	今木	動物看護過程とは何か	1.動物看護過程とは 2.動物看護過程の流れ	ファームプレス6巻
6	Ⅳ. 動物看護過程	今木	動物看護過程の流れ	2.動物看護過程の流れ (1)アセスメント (2)看護診断	ファームプレス6巻
7	Ⅳ. 動物看護過程	今木	動物看護過程の流れ	2.動物看護過程の流れ (3)看護計画 (4)看護実践 (5)看護評価	ファームプレス6巻
8	Ⅳ. 動物看護過程	今木	飼い主の理解	3.傾聴 (1)傾聴の基本動作 (2)情報聴取および伝え方	ファームプレス6巻
9	Ⅳ. 動物看護過程	今木	飼い主の理解	3.傾聴 (3)要約聴取 (4)非言語コミュニケーション	ファームプレス6巻
10	Ⅳ. 動物看護過程	今木	飼い主の理解	4.価値観および自己覚知	ファームプレス6巻
11	Ⅴ. 循環器系・泌尿器系疾患の看護	今木	循環器系・泌尿器系の構造と機能	1.循環器系・泌尿器系の構造と機能 (1)構造	ファームプレス6巻
12	Ⅴ. 循環器系・泌尿器系疾患の看護	今木	循環器系・泌尿器系の構造と機能	1.循環器系・泌尿器系の構造と機能 (2)機能	ファームプレス6巻
13	Ⅴ. 循環器系・泌尿器系疾患の看護	今木	循環器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (1)心筋に関する異常 (2)刺激伝導系に関する異常	ファームプレス6巻
14	Ⅴ. 循環器系・泌尿器系疾患の看護	今木	循環器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (3)ポンプ機能の低下による障害 ①左心室 ②右心室 3.検査	ファームプレス6巻

15	Ⅴ. 循環器系・泌尿器系疾患の看護	今木	循環器系・泌尿器系疾患に対する看護介入	4.看護介入(1)問診のポイント 2)一般状態 (3)検査時における看護介入	ファームプレス6巻
16	Ⅴ. 循環器系・泌尿器系疾患の看護	今木	循環器系・泌尿器系疾患に対する看護介入	4.看護介入 (4)治療時にける看護介入 (5)主な疾患に対する看護介入	ファームプレス6巻
17	Ⅵ. 呼吸器系疾患の看護	今木	呼吸器系の構造と機能	1.呼吸器系の構造と機能 (1)呼吸器の構造 (2)呼吸の機能	ファームプレス6巻
18	Ⅵ. 呼吸器系疾患の看護	今木	呼吸器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (1)気道の状態 (2)換気量	ファームプレス6巻
19	Ⅵ. 呼吸器系疾患の看護	今木	呼吸器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (3)酸素化能力 4.検査	ファームプレス6巻
20	Ⅴ. 呼吸器系疾患の看護	今木	呼吸器系疾患に対する看護介入	4.看護介入(1)問診のポイント (2)一般状態 (3)検査時における看護介入	ファームプレス6巻
21	Ⅴ. 呼吸器系疾患の看護	今木	呼吸器系疾患に対する看護介入	4.看護介入 (4)治療時にける看護介入 (5)主な疾患に対する看護介入	ファームプレス6巻
22	Ⅵ. 消化器系・内分泌系疾患の看護	今木	消化器系・内分泌系の構造と機能	1.消化器系・内分泌系の構造と機能 (1)構造 (2)機能	ファームプレス6巻
23	Ⅵ. 消化器系疾患の看護	今木	消化器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (1)口腔内 (2)嚥下 (3)食道 (4)甲状腺 (5)上皮小体	ファームプレス6巻
24	Ⅵ. 消化器系疾患の看護	今木	消化器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (6)胃 (7)腸 (8)膵臓	ファームプレス6巻
25	Ⅵ. 消化器系疾患の看護	今木	消化器系疾患の観察ポイント	2.観察ポイント (9)肝臓 (10)副腎 3.検査	ファームプレス6巻
26	Ⅵ. 消化器系疾患の看護	今木	消化器系疾患に対する看護介入	4.看護介入(1)問診のポイント (2)一般状態 (3)検査時における看護介入	ファームプレス6巻
27	Ⅵ. 消化器系疾患の看護	今木	消化器系疾患に対する看護介入	4.看護介入 (4)治療時にける看護介入 (5)主な疾患に対する看護介入	ファームプレス6巻
28	Ⅵ. 消化器系疾患の看護	今木	デンタルケア	1.歯の構造と機能 2.歯垢と歯石 3.検査と治療 4.デンタルケア	ファームプレス6巻
29	Ⅶ. 運動器系疾患の看護	今木	運動器系疾患に対する看護介入	1.骨、筋肉、神経の構造と機能	ファームプレス6巻
30	Ⅶ. 運動器系疾患の看護	今木	運動器系疾患に対する看護介入	2.リハビリテーション	ファームプレス6巻
評価方法		学期末試験 授業態度 提出物			

教科	動物臨床栄養学	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		栄養学総論では、小動物の栄養に関する基礎を理解し、動物看護師としてライフステージ別の栄養指導やカロリー計算などを活用して飼い主にアドバイスができることを目的とする。 栄養学各論では、総論で学んだ知識を活用して疾病時に必要な栄養管理について学ぶ。また、疾病の進行に合わせた食事を飼い主に提案できるようになることを目的とする					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	六大栄養素を理解する①	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
2	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	六大栄養素を理解する②	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
3	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	犬・猫の必要栄養素の違いを理解する①	動物看護コアテキスト７ （動物看護の実践）
4	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	ペットフードの表記を理解する①	動物看護コアテキスト８ （動物看護の実践）
5	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	ライフステージの違いを理解する①	動物看護コアテキスト９ （動物看護の実践）
6	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	BCS評価およびカロリー計算ができる①	動物看護コアテキスト１０ （動物看護の実践）
7	動物臨床栄養学	片桐	栄養学総論	BCS評価およびカロリー計算ができる②	動物看護コアテキスト１０（動物看護の実践）
8	動物臨床栄養学	廣田	栄養学総論	六大栄養素について、組成、働き、代謝などを復習をする①	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
9	動物臨床栄養学	廣田	栄養学総論	六大栄養素について、組成、働き、代謝などを復習をする②	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
10	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	食事療法とは何か学ぶ	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
11	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	食事療法食の表記と取り扱いについて学ぶ①	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
12	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	食事療法食の表記と取り扱いについて学ぶ②	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
13	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性① 下部尿路疾患の原因と病態について学ぶ①	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
14	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 下部尿路疾患の原因と病態について学ぶ②	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）
15	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 下部尿路疾患の原因と病態について学ぶ③	動物看護コアテキスト６ （動物看護の実践）

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物臨床栄養学	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		栄養学総論では、小動物の栄養に関する基礎を理解し、動物看護師としてライフステージ別の栄養指導やカロリー計算などを活用して飼い主にアドバイスができることを目的とする。 栄養学各論では、総論で学んだ知識を活用して疾病時に必要な栄養管理について学ぶ。また、疾病の進行に合わせた食事を飼い主に提案できるようになることを目的とする					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 皮膚疾患について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
2	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 いろいろな皮膚疾患の栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
3	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 皮膚疾患について学ぶ いろいろな皮膚疾患の栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
4	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 肥満について学ぶ 肥満と疾患の関連について理解する	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
5	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 肥満について学ぶ 肥満と疾患の関連について理解する	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
6	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 消化管系疾患について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
7	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 下痢症状に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
8	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 便秘症状に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
9	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 心臓病について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
10	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 心臓病について学ぶ 心臓疾患に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
11	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 腎臓疾患について学ぶ 腎臓疾患に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
12	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 腎臓疾患に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
13	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 腎臓疾患について学ぶ 腎臓疾患に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
14	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 肝臓疾患について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）
15	動物臨床栄養学	廣田	栄養学各論	疾患別による栄養特性 肝臓疾患について学ぶ 肝臓疾患に対する栄養管理について学ぶ	動物看護コアテキスト6 （動物看護の実践）

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物臨床検査学	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	シラバス対応

学習目標	1．動物看護実践学で学んだ内容の確認し、より正確な知識を定着させる。 2．さまざまな検査に対応できる保定法を身につける。 3．臨床現場でスムーズに検査が行えるよう、検査手技の効率化を身につける。 4．投与法の準備が迅速に行え、投与手技を身につけることでより動物に寄り添った看護が行えるようにする。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	1.保定法について学習する ①保定の目的について学習する	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
2	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	1.保定法について学習する ②採血時の保定法を学習し、その方法を習得する	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
3	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	1.保定法について学習する ③採血時以外のさまざまな場合を想定し、適応する保定法を学習する	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
4	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	2.包帯法について学習する ①包帯法の目的について学習する	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
5	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	2.包帯法について学習する ②さまざまな包帯法について学習する	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
6	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	2.包帯法について学習する ③器具、道具を使用した包帯法について学習する	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
7	動物臨床検査学	廣田	保定法 包帯法	3.保定法、包帯法実習 ①犬を使用し、さまざまな保定法を学習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
8	動物臨床検査学	廣田	血液検査	1.血液検査の目的を復習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
9	動物臨床検査学	廣田	血液検査	2.血液検査実習① ヘマトクリット管、遠心分離器、蛋白比重計の使用法を確認し、習得する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
10	動物臨床検査学	廣田	血液検査	1.血液検査実習② 自動血球計算器、血液化学検査、血液電解質検査の方法を確認し、効率的に実施できるようにする。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
11	動物臨床検査学	廣田	血液検査について	1.血液検査の各項目について、意義と評価を学習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
12	動物臨床検査学	廣田	糞便検査	1.糞便検査の目的を確認する。 ①直接塗抹法の手技を復習し、より効率的に実施できるように学習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス
13	動物臨床検査学	廣田	糞便検査	1.糞便検査の目的を確認する。 ②浮遊法の手技を確認し、より効果的に実施できるように学習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス
14	動物臨床検査学	廣田	投与法	1.投与法の種類と方法を復習する ①強制給餌法②経口投与について学習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
15	動物臨床検査学	廣田	投与法	1.投与法の種類と方法を復習する ③点眼投与　④点耳投与について復習し、より効率的に実施できるよう学習する。 ⑤飼い主に投与方法、注意点などを説明できるよう学習する。	動物看護コアカリキュラム６ 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物臨床検査学	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	シラバス対応

学習目標	1. 班で学習することでコミュニケーション能力を養い、チーム医療に参加できるように意識づける。 2. 動物病院の受付業務をシミュレーションを通して学び、問診法や飼い主への対応を学習する。 3. さまざまな検査や周術期管理を迅速かつ正確に行えるように学ぶ。 4. 臨床現場で責任もって検査が行えるよう、個々の意識を高める。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物臨床検査学	廣田	調剤法	1.薬剤の種類、剤形などについて学習する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
2	動物臨床検査学	廣田	調剤法	2.調剤に際しての注意点などを学習する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
3	動物臨床検査学	廣田	調剤法	3.投与量の計算を復習し、確実に必要量が算出できるようになる。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
4	動物臨床検査学	廣田	調剤法	4.調剤法実習 ①投与量を計算し、調剤を行う。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
5	動物臨床検査学	廣田	調剤法	4.調剤法実習 ②分包器の構造、使用法を確認する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
6	動物臨床検査学	廣田	調剤法	4.調剤法実習 ③効率よく分包できるよう練習し、習得する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
7	動物臨床検査学	廣田	尿検査	1.尿検査の目的を確認する.	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
8	動物臨床検査学	廣田	尿検査	2.尿検査実習 ①一般検査について確認する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
9	動物臨床検査学	廣田	尿検査	2.尿検査実習 ②試験紙による化学的検査法の手技を復習し、より効率的に実施できるよう学習する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
10	動物臨床検査学	廣田	尿検査	2.尿検査実習 ③細胞学的検査の手技を復習し、より効果的に実施できるよう学習する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
11	動物臨床検査学	廣田	まとめ	1.看護の実践的な作業を確認し、現場で適切に対応できるようにする。 ①保定法：採血時の保定法を確認する	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
12	動物臨床検査学	廣田	まとめ	1.看護の実践的な作業を確認し、現場で適切に対応できるようにする。 ②検査：血液、糞便、尿検査方法を確認し、効率的に実施できるように学習する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
13	動物臨床検査学	廣田	まとめ	1.看護の実践的な作業を確認し、現場で適切に対応できるようにする。 ③注射法：それぞれの注射法に必要な器具の準備ができるか確認し、その手技も実践できるか確認する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
14	動物臨床検査学	廣田	まとめ	1.看護の実践的な作業を確認し、現場で適切に対応できるようにする。 ④調剤法：さまざまな剤形のものを適切に処理し、分包できるか確認する。	動物看護コアカリキュラム6 動物看護の実践 ファームプレス 配布資料
15	動物臨床検査学	廣田	保定法	1.保定法を復習する ①小型犬の保定法を復習する ②大型犬の保定法を学習し、その方法を習得する。 2．体脂肪測定 ①体脂肪計の使用法を学び、測定を行う。	動物看護学テキスト （ファームプレス） 犬と猫の臨床検査マスターブック（インターズー） 配布資料

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物医療コミュニケーション	1年	動物看護科	18時間	1コマ	120分	
学習目標		コミュニケーションは動物病院業務に非常に重要で、診療にも大きく影響を与える。信頼される社会人として身だしなみの重要性、敬語の使い方、表情、立ち振る舞いの基本動作を講座で学び実習、グループワーク等で精度を高める。また、チーム獣医療に必要なコミュニケーションスキルを身につける。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物医療コミュニケーション	小林	院内コミュニケーションとは	院内コミュニケーションの必要性、重要性を講義で学ぶ。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
2	動物医療コミュニケーション	小林	院内コミュニケーションとは	院内コミュニケーションの必要性、重要性を講義で学び、各グループで話し合い発表する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
3	動物医療コミュニケーション	小林	社会人コミュニケーション能力の基礎	挨拶、お辞儀、滑舌練習を実習で学ぶ。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
4	動物医療コミュニケーション	小林	社会人コミュニケーション能力の基礎	挨拶、お辞儀、滑舌練習をグループワークで精度を高める。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
5	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応の基礎	飼い主のお迎え対応を基礎から講義、実習で学ぶ。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
6	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応の基礎	飼い主の診察対応を基礎から講義、実習で学ぶ。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
7	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応の基礎	飼い主の送り出し対応を基礎から講義と実習で学ぶ。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
8	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応の基礎	飼い主のお迎え・診察応対・送り出し対応をグループワーク方式で精度を高める。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
9	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応の基礎	「ほうれんそう」「5W2H」の基礎を講義で学ぶ	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート

評価方法	学期末試験　授業態度

教科	動物医療コミュニケーション	2年	動物看護科	20時間	1コマ	120分	

学習目標	動物看護師の動物病院での役割は幅広く多岐にわたる。動物病院での業務を背景にあらゆる状況に応じたコミュニケーション力を身につけ、クライアントエデュケーションを理解し、飼い主教育指導を学ぶ。またホスピタリー精神を養い飼い主・患者に豊かなQOLの提供、グリーフケアについても学習する。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物医療コミュニケーション	小林	クライアントエデュケーションとは	クライアントエデュケーションの概論、目的、必要性を学ぶ	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
2	動物医療コミュニケーション	小林	クライアントエデュケーションとは	飼い主と信頼を築きコンプライアンス向上に向けての教育指導を理解し飼い主と同じ視点に立ち動物に実施してほしいことをの指導方法を理解する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
3	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	飼い主に伝える能力を養う。ロールプレイ形式で聞き手の役割カードを使い実習する。飼い主に伝える能力を養う。グループで話し合い発表形式で商品説明を実施する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
4	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	求められる人材につて学ぶ。グッドマン方式を理解する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
5	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	動物の様子を確認しながら質問・主訴業務を学び、実習する。薬の説明業務を学ぶ。相手に合わせた薬の説明を学び実習する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
6	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	精算業務を学ぶ。相手に合わせた生産方法を学び実習する。電話対応の基礎・応用を学び実習する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
7	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	クレーム対応の基礎・応用を学び実習する。外部対応の基礎・応用を学び実習する。待合室管理も学ぶ。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
8	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	緊急時対応の基礎・応用を学び実習する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
9	動物医療コミュニケーション	小林	飼い主対応	グリーフケアの基礎を学ぶ。グリーフケアの基礎をもとに飼い主対応を学び実習する。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート
10	動物医療コミュニケーション	小林	チーム獣医療	チーム獣医療として必要なコミュニケーション能力を養う。	動物医療コミュニケーション資料一式・ノート

評価方法	学期末試験　授業態度

教科	動物形態機能学実習	1年	動物看護科	46時間	1コマ	120分	
学習目標		動物のからだの形態と機能を骨格標本や臓器模型、主要臓器の組織像などを通じて学ぶび修得した知識の実践力を身につける。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物形態機能学実習	濱本	動物形態機能学実習概論	動物を生命体として細胞、組織、臓器レベルの各階層での知識は動物形態機能学で修得しながら犬の体に触れた時今自分が触れている所には何があるか立体的にわかるようになる。動物のからだを構成する骨、筋、内臓器官の位置と相関関係が立体的に理解する。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
2	動物形態機能学実習	濱本	動物形態機能学実習概論	動物を生命体として細胞、組織、臓器レベルの各階層での知識は動物形態機能学で修得しながら犬の体に触れた時今自分が触れている所には何があるか立体的にわかるようになる。動物のからだを構成する骨、筋、内臓器官の位置と相関関係が立体的に理解する。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
3	動物形態機能学実習	濱本	動物形態機能学実習概論	動物を生命体として細胞、組織、臓器レベルの各階層での知識は動物形態機能学で修得しながら犬の体に触れた時今自分が触れている所には何があるか立体的にわかるようになる。動物のからだを構成する骨、筋、内臓器官の位置と相関関係が立体的に理解する。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
4	動物形態機能学実習	濱本	体の表面	体位と方向を示す用語を知り、説明する。 パズルなどで確認する。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
5	動物形態機能学実習	濱本	体の表面	体位と方向を示す用語を知り、説明する。 パズルなどで確認する。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
6	動物形態機能学実習	濱本	骨、関節	犬の骨格標本に触れながら全身の骨格を確認し名称を知る。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
7	動物形態機能学実習	濱本	骨、関節	犬の骨格標本に触れながら全身の骨格を確認し名称を知る。 確認しながらスケッチする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
8	動物形態機能学実習	濱本	骨、関節	頭蓋、歯、脊柱、肋骨、肩、腕、前腕部の骨。 骨盤を構成する骨、大腿骨と下腿を構成する骨。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
9	動物形態機能学実習	濱本	骨、関節	頭蓋、歯、脊柱、肋骨、肩、腕、前腕部の骨。 骨盤を構成する骨、大腿骨と下腿を構成する骨。 確認しながらスケッチをする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
10	動物形態機能学実習	濱本	骨、関節	代表的な骨の名称と特徴を確認。 関節の構造を確認し、代表的な関節と名称作り働きを確認する。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
11	動物形態機能学実習	濱本	骨、関節	代表的な骨の名称と特徴を確認。 関節の構造を確認し、代表的な関節と名称作り働きを確認する。 確認しながらスケッチをする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学

12	動物形態機能学実習	濱本	内臓器官の位置	雌の特徴的な内臓器官の位置と概観を確認し、スケッチをする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
13	動物形態機能学実習	濱本	内臓器官の位置	雄の特徴的な内臓器官の位置と概観を確認し、スケッチをする。 犬の生体に触れた時にその部位にはどのような臓器が位置しているかが頭に浮かぶようにする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
14	動物形態機能学実習	濱本	内臓器官の位置	犬の生体に触れた時にその部位にはどのような臓器が位置しているかが頭に浮かぶようにする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
15	動物形態機能学実習	濱本	代表的な深層の筋	外側から見た代表的な体幹深層、四肢の筋の名称と働きを知る。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
16	動物形態機能学実習	濱本	代表的な深層の筋	外側から見た代表的な体幹深層、四肢の筋の名称と働きを知りスケッチをする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
17	動物形態機能学実習	濱本	代表的な深層の筋	体幹深層、四肢の筋のの起始、停止を確認しながら働きを知りスケッチを行う。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
18	動物形態機能学実習	濱本	代表的な浅層の筋	大部分の筋膜と皮筋を除去した後の外側から見た浅層筋の起始、停止を確認しながら働きを知り、スケッチをする。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
19	動物形態機能学実習	濱本	顕微鏡の操作方法	適切な顕微鏡の操作方法および取り扱いを身に付ける。 顕微鏡の各部位と強検倍率、強検条件を理解する。 正しい操作と基本的な管理ができる。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
20	動物形態機能学実習	濱本	顕微鏡の操作方法	適切な顕微鏡の操作方法および取り扱いを身に付ける。 顕微鏡の各部位と強検倍率、強検条件を理解する。 正しい操作と基本的な管理ができる。	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
21	動物形態機能学実習	濱本	健常な組織像を顕微鏡で観察	特徴のある主要臓器の組織像を観察しスケッチする。 甲状腺、肺、肝臓、腎臓、膵臓、腸など	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
22	動物形態機能学実習	濱本	健常な組織像を顕微鏡で観察	特徴のある主要臓器の組織像を観察しスケッチする。 甲状腺、肺、肝臓、腎臓、膵臓、腸など	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
23	動物形態機能学実習	濱本	健常な組織像を顕微鏡で観察	特徴のある主要臓器の組織像を観察しスケッチする。 甲状腺、肺、肝臓、腎臓、膵臓、腸など	犬と猫の身体のしくみ・絵で見る解剖学
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物内科看護学実習	1年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標		犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技、またグルーミングの技術を得ることにより皮膚や被毛を中心とした健康状態の把握について理解を深め、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物内科看護学実習	片桐	動物の 健康状態チェック	実際の動物を使用し個体の観察と把握を徹底し基礎情報を収集しながら健康チェックを行う。	
2	動物内科看護学実習	片桐	動物の 健康状態チェック	実際の動物を使用し個体の観察と把握を徹底し基礎情報を収集しながら健康チェックを行う。	
3	動物内科看護学実習	片桐	動物の 健康状態チェック	実際の動物を使用し個体の観察と把握を徹底し基礎情報を収集しながら健康チェックを行う。	
4	動物内科看護学実習	片桐	動物看護師が行う保定	保定をする意味。 動物種による適正な保定法の確認と実践。 獣医学的な処置に適した保定。 保定の種類などを学び実践する。	
5	動物内科看護学実習	片桐	動物看護師が行う保定	保定をする意味。 動物種による適正な保定法の確認と実践。 獣医学的な処置に適した保定。 保定の種類などを学び実践する。	
6	動物内科看護学実習	片桐	動物看護師が行う保定	保定をする意味。 動物種による適正な保定法の確認と実践。 獣医学的な処置に適した保定。 保定の種類などを学び実践する。	
7	動物内科看護学実習	片桐	動物看護師が行う保定	保定をする意味。 動物種による適正な保定法の確認と実践。 獣医学的な処置に適した保定。 保定の種類などを学び実践する。	
8	動物内科看護学実習	片桐	動物看護師が行う保定	保定をする意味。 動物種による適正な保定法の確認と実践。 獣医学的な処置に適した保定。 保定の種類などを学び実践する。	
9	動物内科看護学実習	片桐	動物の飼育環境の確認と整備、 一般的な管理状態の確認	一般的な動物の飼育環境を理解し、実際に使用する動物の飼育環境の確認と整備をする。	
10	動物内科看護学実習	片桐	動物の飼育環境の確認と整備、 一般的な管理状態の確認	一般的な動物の飼育環境を理解し、実際に使用する動物の飼育環境の確認と整備をする。	
11	動物内科看護学実習	片桐	動物の飼育環境の確認と整備、 一般的な管理状態の確認	一般的な動物の飼育環境を理解し、実際に使用する動物の飼育環境の確認と整備をする。	
12	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。	
13	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。	
14	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。	

15	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。	
16	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。また歯ブラシも実践する。	
17	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。また歯ブラシも実践する。	
18	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。また歯ブラシも実践する。	
19	動物内科看護学実習	片桐	被毛や皮膚の管理の実践	体表や被毛の部位・毛色などグルーミングに必要な用語を学ぶ。また健康な状態を理解し疾患が疑われた時の対応も学ぶ。また歯ブラシも実践する。	
20	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
21	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
22	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
23	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
24	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
25	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
26	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
27	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
28	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
29	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
30	動物内科看護学実習	片桐	グルーミング概論	グルーミングが与える動物への効果を学び様々な犬種や状態に応じたグルーミングの技術を得るとともに獣医学的見地から動物への看護およびケアにあたる。	
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物内科看護学実習	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		犬や猫の日常的な健康管理や内科診療の補助に必要な手技、またグルーミングの技術を得ることにより皮膚や被毛を中心とした健康状態の把握について理解を深め、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を修得する。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物内科看護学実習	鎌田	運動の管理と実践	散歩、個体に適した運動を理解し安全かつ健全な歩かせ方、歩行異常の見極めなどを実践する。	
2	動物内科看護学実習	鎌田	運動の管理と実践	散歩、個体に適した運動を理解し安全かつ健全な歩かせ方、歩行異常の見極めなどを実践する。	
3	動物内科看護学実習	鎌田	運動の管理と実践	散歩、個体に適した運動を理解し安全かつ健全な歩かせ方、歩行異常の見極めなどを実践する。	
4	動物内科看護学実習	鎌田	排泄の管理と実践	衛生的な排泄、排泄による健康管理（異常の早期発見）におい、便の状態の観察と確認。また実際の個体を使って実践する。	
5	動物内科看護学実習	鎌田	排泄の管理と実践	衛生的な排泄、排泄による健康管理（異常の早期発見）におい、便の状態の観察と確認。また実際の個体を使って実践する。	
6	動物内科看護学実習	鎌田	排泄の管理と実践	衛生的な排泄、排泄による健康管理（異常の早期発見）におい、便の状態の観察と確認。また実際の個体を使って実践する。	
7	動物内科看護学実習	鎌田	病気の早期発見のための管理と実践	健常時と異常なしぐさ、容態の違いを知り、健康な状態の犬を使い実践する。	
8	動物内科看護学実習	鎌田	病気の早期発見のための管理と実践	健常時と異常なしぐさ、容態の違いを知り、健康な状態の犬を使い実践する。	
9	動物内科看護学実習	鎌田	病気の早期発見のための管理と実践	健常時と異常なしぐさ、容態の違いを知り、健康な状態の犬を使い実践する。	
10	動物内科看護学実習	鎌田	病気の早期発見のための管理と実践	健常時と異常なしぐさ、容態の違いを知り、健康な状態の犬を使い実践する。	
11	動物内科看護学実習	鎌田	病気の早期発見のための管理と実践	健常時と異常なしぐさ、容態の違いを知り、健康な状態の犬を使い実践する。	
12	動物内科看護学実習	鎌田	病気の早期発見のための管理と実践	健常時と異常なしぐさ、容態の違いを知り、健康な状態の犬を使い実践する。	
13	動物内科看護学実習	鎌田	食事の管理と関わり	人工的な給餌、症状に合った給餌を実践する。	
14	動物内科看護学実習	鎌田	食事の管理と関わり	人工的な給餌、症状に合った給餌を実践する。	
15	動物内科看護学実習	鎌田	食事の管理と関わり	人工的な給餌、症状に合った給餌を実践する。	

評価方法	学期末試験・授業態度・提出物

教科	動物臨床検査学実習	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		それぞれの動物種の状態に応じた保定技術を身につけスムーズな診療・処置を行えるようにする。また、講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力および看護法に関する基本的手技を身につける。また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。動物の基礎情報を収集し診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに全身の身体検査を実施しバイタルサインの評価・記録・獣医師の報告が行えるようにする。				

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物臨床検査学実習 バイタルサイン	立花	体温 脈拍	バイタルサインとは何か？その重要性と意義を学ぶ。 バイタルチェックと身体検査の方法を習得する。	
2	動物臨床検査学実習 バイタルサイン	立花	呼吸数・呼吸パターン 体重測定	バイタルの正常値を把握する。 バイタルの異常を早く見つけ獣医師に報告する。	
3	動物臨床検査学実習 バイタルサイン	立花	PFA CRT 血圧測定 尿量チェック	身体から得られる可能な限りの情報を探し、動物の状態をより詳しく把握する。 測定方法・測定部位評価法を学ぶ。 測定部位・装着方法・正常値の理解した上で、血行動態と循環血量の把握と理解する。 体重管理と合わせて飲水量・尿量をチェックする。	
4	動物臨床検査学実習 顕微鏡 器具の取り扱い	立花	概論 名称・倍率・条件 操作法	顕微鏡の適切な取り扱いと操作方法を学ぶ。 対物・接眼レンズの倍率、明るさ、ピントなど適切に調整できる。 油浸オイルの使い方および使用後の清掃を学ぶ。	
5	動物臨床検査学実習 血液検査1	立花	概論 意義・目的	血液検査の意義・血液成分と役割・正常値・検査項目を学ぶ。 駆血の仕方・衰弱した動物への接し方・採血部位を学ぶ。	
6	動物臨床検査学実習 血液検査2 血液検査3	立花	採血部位・保定 ・駆血 血液の取り扱い CBC検査 血液塗抹標本	採血部位の確認と保定および駆血の仕方を学ぶ。 血液の抗凝固処理・取り扱い方を学ぶ。 CBC検査の意義を理解し、その手技を学ぶ。 血液塗抹標本の意義を理解し、その方法・染色法を学ぶ。	
7	動物臨床検査学実習 血液検査4	立花	生化学検査 輸血・クロスマッチ	生化学検査の意義を理解し、適切な手技を習得する。 輸血時のクロスマッチの意義を理解すると同時に手技を習得する。	

8	動物臨床検査学実習 血液検査5	立花	免疫学的検査 凝固系検査	簡易キットを使った免疫学的検査の意義を理解し 抗原・抗体の仕組みを学ぶ。 凝固系の検査の意義を理解し、止血機能と凝固 の仕組みについて学ぶ。	
9	動物臨床検査学実習 血液検査6	立花	内分泌・ホルモン	内分泌・ホルモンに働きについて学び、測定する 意義を理解する。	
10	動物臨床検査学実習 尿検査	立花	目的・意義 機器・備品管理 採尿法	泌尿器系の働きと臨床検査の関連性を学ぶ。 正常尿と異常尿の疑われる疾患の理解。 器具機材の取り扱いを理解する。	
11	動物臨床検査学実習 尿検査	立花	物理学的性状検査 化学的検査 顕微鏡学的検査	各種採尿法、尿の正しい取り扱いを学ぶ。 物理学的性状検査の意義を理解し、適切な手 技ができる。色調や混濁の観察・判断。比重・ タンパク尿の測定。	
12	動物臨床検査学実習 尿検査	立花	物理学的性状検査 化学的検査 顕微鏡学的検査	化学的な検査の意義を理解し、適切な手技が できる。尿試験紙の正しい取り扱いを学ぶ。 尿沈渣で認められる結晶・細胞成分・尿円柱 ・細菌などについて詳しく学び、形状をみて判 断できるようになる。	
13	動物臨床検査学実習 糞便検査	立花	目的・意義 採便法	糞便検査の意義を理解し、消化器疾患との関 連性を考える。	
14	動物臨床検査学実習 糞便検査	立花	物理学的性状検査 顕微鏡学的検査 虫卵検査 免疫学的検査	採便法のメリット・デメリットを知る。 物理学的性状の検査を理解し適切な手技がで きる。色調・硬度・形状・臭気・含有物などの顕 微鏡学的検査の意義を理解し適切な手技を習 得する。	
15	動物臨床検査学実習 糞便検査	立花	物理学的性状検査 顕微鏡学的検査 虫卵検査 免疫学的検査	直接法・浮遊法を習得し、虫卵の検出・判断をする。 簡易キットを用いた免疫学的検査の意義を理解 し、適切な手技ができる。	
評価方法		学期末試験　授業態度　提出物			

教科	動物臨床検査学実習	2年	動物看護科	70時間	1コマ	120分	
学習目標		それぞれの動物種の状態に応じた保定技術を身につけスムーズな診療・処置を行えるようにする。また、講義で習得した知識の実践とし、診療現場で必要な観察力および看護法に関する基本的手技を身につける。また手順や要領を考慮した行動から問題解決能力や看護実践能力を身につける。動物の基礎情報を収集し診療補助からはじまるトータルケアの看護技術を学ぶ。飼い主から得た主訴・病歴などの情報をもとに全身の身体検査を実施しバイタルサインの評価・記録・獣医師の報告が行えるようにする。				

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物臨床検査学実習 調剤	立花	医薬品概論 処方箋・用語 種類・形状・標記 薬用量計算	医薬品の定義を知り情報の必要性、薬物動態について理解する。 処方箋と調剤用語を理解し、処方箋の内容が理解できる。	
2	動物臨床検査学実習 調剤	立花	調剤手技 分包 投薬法	薬剤の形状・標記を理解できる。内服薬・外用薬・注射薬に種類と特徴を学ぶ。医薬品の種類（劇薬・毒薬・要指示薬）を学ぶ。	
3	動物臨床検査学実習 調剤	立花	調剤手技 分包 投薬法	目的とする薬剤の薬用量の計算・調剤・分包について理解する。 各種薬剤の調剤方法を学び、的確な調剤選択をする。	
4	動物臨床検査学実習 調剤	立花	調剤手技 分包 投薬法	分包の手技と分包機の使い方マスターする。 薬剤を正しく理解し、各種剤型で正確に投与する方法をマスターする。	
5	動物臨床検査学実習 注射法1	立花	概論・保定 シリンジ 注射針の扱い 注射薬（アンプル・バイアル）の扱い	注射が行われる目的と必要性を学び、併せて擦れに必要な保定法を身につける。 シリンジ・注射針の構造や種類を理解し、正しい取り扱いを身につける。 保存されている薬剤容器の取り扱いと容器からの薬剤の必要量の取り分けができる。	
6	動物臨床検査学実習 注射法2	立花	皮下注射・筋肉注射 静脈注射 皮下点滴準備・手技 輸液剤の種類 静脈留置準備・手技	さまざまな注射の投与法の手技とその利点を理解する。 点滴に必要な備品とその名称について学び、その手技を習得する。 輸液剤の種類を学び、投与経路・投与方法・投与量について考える。 留置針の種類・構造を学び、それに必要な備品を準備できるようにする。	

7	動物臨床検査学実習 注射法3	立花	輸液管理 （ライン管理・接続・輸液ポンプ設定） 入院管理・衛生管理	輸液の適切な接続および操作法を身につける。 動物の大きさ・状態を観察しそれに合わせた輸液の量を考える。 排泄物の感染源の理解と衛生管理を学び、隔離室を含めた衛生的な入院環境を実践する。	
8	動物臨床検査学実習 レントゲン検査1	立花	基本原理 撮影器具・撮影条件 ポジショニング	X線と可視光線の違いについて学び、その特徴を利用した撮影について学ぶ。 適切な撮影に用いる器具及び撮影条件に必要な電流・電圧・時間の設定について学ぶ。 動物の種類を認識し、その被写体の正確なポジションを考え、さらに負担のかからない保定法を学ぶ。	
9	動物臨床検査学実習 レントゲン検査2	立花	現像・定着 データ管理 読影	適切な現像・定着・水洗・乾燥の手技を学ぶ。 フィルムのデータ管理について学ぶ。 レントゲンフィルムの臓器による画像の濃淡を考え、基本的な読影を理解する。	
10	動物臨床検査学実習 心電図	立花	概論・目的・意義 基本原理 操作法 ポジショニング 正常波形の解釈と記録紙の見方 異常波形の解釈	心電図の検査の目的を理解し、疾患との関連性について学ぶ。 心電図の原理を学び、解剖生理と刺激伝導系の仕組みを理解する。 心電図の取り扱いと操作方法、電極の装着法、記録紙の取り方を学ぶ。	
11	動物臨床検査学実習 心電図	立花	データの読み取り	測定に際し、できるだけ動物に負担のない保定を実践する。 心筋の収縮・刺激伝導系を理解し、正常波形の関連性を学ぶ。 異常波形の種類とそこから疑われる疾患について学ぶ。 検査を実施した心電図波形から、データを分析する。	
12	動物臨床検査学実習 眼科1	立花	目的・意義・解剖 視覚検査 神経学的検査	眼の解剖を知り、眼科検査の目的・意義を理解する。 威嚇検査、綿球落下検査、迷路試験など視覚検査の意義と手技を学ぶ。 角膜反射、眼瞼検査、対光反射など神経学的検査の意義と手技を学ぶ。	

13	動物臨床検査学実習 眼科2	立花	シルマー試験 眼圧測定 眼底検査	シルマー試験の方法と意義を学ぶ。 眼圧測定の方法と意義について学び、適切で 繊細な手技ができる。 眼底検査の方法と意義について理解し、適切な 手技ができ、併せて評価できるようになる。	
14	動物臨床検査学実習 眼科3	立花	細隙灯顕微鏡検査 眼科疾患	細隙灯顕微鏡の方法と意義について理解し、 適切な手技ができ、併せて評価できるようになる。 眼科検査と疾患について、その関連性を学ぶ。	
15	動物臨床検査学実習 救命救急	立花	基礎知識 救命救急の臨床例 （外傷・眼科・神経・中毒・呼吸・ 心臓循環・ショック）	救急看護の基礎知識の習得と心構えを学ぶ。 各病態の知識と対応・処置について学ぶ。 救急救命処置時のモニターの手技とその重要 性と評価について学ぶ。	
16	動物臨床検査学実習 救命救急	立花	緊急時のモニター 心肺停止と心肺蘇生 緊急薬品の知識 緊急薬品の輸液	救急救命時の評価と基本的な蘇生法を学ぶ。 救急救命処置時に使用される薬剤について学ぶ。 救急救命処置時の輸液療法で、その輸液の種類 や投与量・投与時間・投与経路について学ぶ。	
17	動物臨床検査学実習 皮膚検査	立花	目的・意義 機器・備品 病変の観察と記録 皮膚掻爬・スタンプ・被毛検査 ウッド検査・真菌培養法	皮膚検査の意義を理解し、適切な手技を身につ ける。 皮膚検査に用いる機器、用具の名称と用途を学ぶ。 皮膚病変の観察により、異常所見の記録をできる ようになる。	
18	動物臨床検査学実習 皮膚検査	立花	耳（外耳・中耳・内耳）	皮膚掻爬・スタンプ・被毛検査の意義を理解し、手 技をマスターする。 ウッド検査・真菌培養法の意義を理解し、手技を マスターする。 耳の解剖生理を理解し、さまざまな耳の疾患につ いて学ぶ。	
19	動物臨床検査学実習 微生物学的検査 （細菌・真菌）	立花	概要 菌種 細菌・真菌培養 菌の取り扱い	微生物学及び微生物学的検査の意義を理解し、 適切な手技を学ぶ。 細菌と真菌の種類と形状を学び、それぞれの特 徴を理解する。	
20	動物臨床検査学実習 微生物学的検査 （細菌・真菌）	立花	標本作成（固定・染色） と鏡検 薬剤感受性試験と抗生物質	細菌・真菌培養に必要な備品の準備及び手順に ついて学ぶ。 感染の定義を学び、感染源・感染経路の種類を知 り、細菌・真菌の取り扱いを熟知する。	

21	動物臨床検査学実習 微生物学的検査 （細菌・真菌）	立花	標本作成（固定・染色） と鏡検 薬剤感受性試験と抗生物質	基本的な感染性のある菌の固定法を学び、染色の 色調の違いと判別法を知る。 薬剤感受性試験の目的・手順を知り、効果的な抗 生物質の種類・名称・効果について学ぶ。	
22	動物臨床検査学実習 手術	立花	手術補助 器具・機材の準備 麻酔前評価 血管確保 麻酔とは（麻酔の種類など）	麻酔・手術の全体的な流れを学ぶ。周術期の管 理について学ぶ。 一般的な手術器具の名称と特徴を理解し、手術 目的に合わせて準備および取り扱いができるよう になる。	
23	動物臨床検査学実習 手術	立花	麻酔導入・気管確保 麻酔の維持・管理 輸液管理 （ライン管理・接続・輸液ポンプ設定） 麻酔モニターと血液循環 麻酔記録	年齢・動物種・身体検査・血液検査・X線検査など を行い、麻酔前の総合評価を行い、麻酔の安全 性の評価をできるようになる。 外科手術を補助するための血管確保の準備・ 手順・手技などを学び、的確に処置者のサポー トができるようになる。	
24	動物臨床検査学実習 手術	立花	麻酔覚醒 術後管理 （術創保護・疼痛管理・ アメニティー）	麻酔の定義とその麻酔の種類・特徴を学び、 麻酔下の生理的な状態や危険性を理解する。 麻酔導入方法の理解をする。麻酔導入薬の 種類と薬理効果を学ぶ。気道確保の準備と 手順を覚える。適切な気管チューブの選択と スムースな手技の補助をできるようになる。 動物の麻酔リスクを考えた上で、安全性を 確保するために、術中の動物の状態を把握し、 適切な麻酔維持ができるようになる。	
25	動物臨床検査学実習 手術	立花	麻酔覚醒 術後管理 （術創保護・疼痛管理・ アメニティー）	手術中の輸液の目的を理解し、輸液剤の選択 と輸液量の設定を考え実施できるようになる。 五感を使ったモニター手技と機器を使ったモニ ターを並行し、最善の麻酔状況を維持できるよ うになる。心拍出と血圧・循環血液量を把握し血液 循環を理解する。	

26	動物臨床検査学実習 手術	立花	麻酔覚醒 術後管理 （術創保護・疼痛管理・ アメニティー）	麻酔中の記録を取ることの重要性を理解し実践する。 麻酔覚醒の生理的状態を理解し、より安全でスムースな麻酔覚醒を迎えるために必要な処置ができるようになる。 術後の創傷管理の実践と疼痛管理の重要性を学び、動物の術後の安静とアメニティーを考える。	
27	動物臨床検査学実習 麻酔実習 （歯石除去）	立花	術前管理（バイタル検診 ・血液検査） 麻酔前処置 （血管確保・送管準備 ・麻酔準備・酸素化）	身体検査や血液検査などを中心に、必要な検査を実施し、麻酔前の評価を行い事前に必要な処置について学ぶ。 麻酔処置に必要な処置や補助をするために必要な基礎知識を学ぶ。	
28	動物臨床検査学実習 麻酔実習 （歯石除去）	立花	麻酔導入 （気管挿管・モニター設置・麻酔記録） 麻酔維持 （モニター管理・麻酔調節・輸液・保温） 麻酔覚醒・術後管理 （バイタルチェック・疼痛管理・輸液・保温）	麻酔導入方法の理解をする。麻酔導入薬の種類と薬理効果を学ぶ。気道確保の準備と手順を覚える。適切な気管チューブの選択とスムースな手技の補助をできるようになる。 五感や機器（HR・RR・SpO2・Etco2・麻酔濃度・血圧など）によるモニター法を学び、動物の状態を把握しながら麻酔調整や輸液の対応ができるようになる。 麻酔覚醒の内容を理解し、抜管のタイミングを学びその後の疼痛管理や輸液・保温などの術後管理を身につける。	
29	動物臨床検査学実習 外科準備	立花	器具・機材の準備 ドレープの準備 手術器具・術野・手指消毒 術着とグローブの装着	手術に必要な器具・機材の準備・管理を適切に準備できる。 ドレープ・ガウンの意味を理解し、適切なものを準備できる。	
30	動物臨床検査学実習 外科準備	立花	術者・手術助手と周術期管理	用途に合わせた滅菌方法の選択と管理を学ぶ。 使用効率や無菌操作を考えたドレープやガウンのたたみ方ができる。 汚染源を限りなく少なくするために、帽子・マスクを装着し、無菌の術着とグローブの装着法を身に着ける。	
31	動物臨床検査学実習 外科準備	立花	術者・手術助手と周術期管理	手術の流れを知り、その周術期の看護を理解し、 動物外科看護においての動物看護師の役割を学ぶ。	

32	動物臨床検査学実習 去勢手術	立花	器具・機材・ドレープ・術衣の準備・滅菌 術野・手指消毒 術着とグローブの装着 術前管理（バイタル検診・血液検査） 麻酔前処置	手術器具とドレープ類の準備と滅菌法を学ぶ。 使用薬剤や縫合糸などの準備ができる。 滅菌の概念を理解し、手指および術野の消毒を学ぶ。 帽子とマスクを装着し、無菌的にガウン・グローブの 装着法を身につける。	
33	動物臨床検査学実習 去勢手術	立花	血管確保・送管準備・麻酔準備・酸素化 麻酔導入 （気管挿管・モニター装着・麻酔記録） 麻酔維持 （モニター管理・麻酔調節・輸液・保温）	麻酔前の動物に安全に麻酔を実施できるか身体検 査・血液検査などをから総合評価をする。 血管確保の準備と手順を確認し、麻酔前の酸素化 の重要性を理解し、注射麻酔導入から吸入麻酔へ の移行がスムースに行えるよう準備する。	
34	動物臨床検査学実習 去勢手術	立花	手術実施 術後管理 （術創保護・疼痛管理・アメニティー）	気管挿管の補助、モニター機器の接続を行い、麻 酔記録の記入をしながら動物の状態を把握する。 モニタリングの必要性を理解する。動物の安全を 確保するために麻酔中の動物の状態を把握し必 要な処置をしながら維持管理に務める。	
35	動物臨床検査学実習 去勢手術	立花	手術実施 術後管理 （術創保護・疼痛管理・アメニティー）	術野の消毒、手指の消毒、術着・グローブの装着 を実践し、助手による器具出し、ﾄﾞﾚｰﾌﾟ掛けなどを 行い、実際の去勢手術を行う。 手術後の創傷管理の方法について学ぶ。鎮痛薬 の投与目的を理解し、投与のタイミングを考える。	
評価方法		学期末試験　授業態度　提出物			

教科	動物外科看護学実習	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	
学習目標		手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得し、実践力を身に付ける。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物外科看護学実習	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。また、周術期看護を理解し、動物外科看護においての動物看護師の役割を学ぶ。	
2	動物外科看護学実習	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。また、周術期看護を理解し、動物外科看護においての動物看護師の役割を学ぶ。	
3	動物外科看護学実習	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。また、周術期看護を理解し、動物外科看護においての動物看護師の役割を学ぶ。	
4	動物外科看護学実習	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。また、周術期看護を理解し、動物外科看護においての動物看護師の役割を学ぶ。	
5	動物外科看護学実習	立花	外科診療時の補助に必要な技術の確認	手術はどのように進められているのか一連の流れを知る。また、周術期看護を理解し、動物外科看護においての動物看護師の役割を学ぶ。	
6	動物外科看護学実習	立花	無菌操作の重要性の確認	手術時、手指を清潔に保つ必要があることを学び実際に手洗い方法を実践する。また、無菌的なマスク・ガウン・グローブの装着を行い無菌操作の必要性を確認する。	
7	動物外科看護学実習	立花	無菌操作の重要性の確認	手術時、手指を清潔に保つ必要があることを学び実際に手洗い方法を実践する。また、無菌的なマスク・ガウン・グローブの装着を行い無菌操作の必要性を確認する。	
8	動物外科看護学実習	立花	無菌操作の重要性の確認	手術時、手指を清潔に保つ必要があることを学び実際に手洗い方法を実践する。また、無菌的なマスク・ガウン・グローブの装着を行い無菌操作の必要性を確認する。	
9	動物外科看護学実習	立花	手術前の動物に必要な管理と関わりを知る	犬、猫の避妊手術を想定し衛生的に手術を行うための動物の管理と関わりを学ぶ。実際の動物を使用し実践する。	
10	動物外科看護学実習	立花	手術前の動物に必要な管理と関わりを知る	犬、猫の避妊手術を想定し衛生的に手術を行うための動物の管理と関わりを学ぶ。実際の動物を使用し実践する。	
11	動物外科看護学実習	立花	手術前の動物に必要な管理と関わりを知る	犬、猫の避妊手術を想定し衛生的に手術を行うための動物の管理と関わりを学ぶ。実際の動物を使用し実践する。	

12	動物外科看護学実習	立花	手術前の動物に必要な管理と関わりを知る	犬、猫の避妊手術を想定し衛生的に手術を行うための動物の管理と関わりを学ぶ。実際の動物を使用し実践する。	
13	動物外科看護学実習	立花	手術室の環境管理	手術室だけではなく手術に使用する器具や機器などの手入れ管理方法などを学ぶ。機器の正常な茶道を確認し、酸素ボンベ、麻酔器、その他の配置を考え実際に使用するように設置する。	
14	動物外科看護学実習	立花	手術室の環境管理	手術室だけではなく手術に使用する器具や機器などの手入れ管理方法などを学ぶ。機器の正常な茶道を確認し、酸素ボンベ、麻酔器、その他の配置を考え実際に使用するように設置する。	
15	動物外科看護学実習	立花	手術室の環境管理	手術室だけではなく手術に使用する器具や機器などの手入れ管理方法などを学ぶ。機器の正常な茶道を確認し、酸素ボンベ、麻酔器、その他の配置を考え実際に使用するように設置する。	
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物外科看護学実習	2年	動物看護科	60時間	1コマ	120分	
学習目標		手術準備や術中・術後管理、麻酔監視、手術の補助、救急救命など動物外科学で学んだ知識の実践力を修得し、実践力を身に付ける。					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　　容	使用教材
1	動物外科看護学実習	立花	滅菌と消毒の実践	滅菌、消毒の概念を理解したうえで用途に合わせた滅菌、消毒方法を選択し適切に使用ができるよう実践する。	
2	動物外科看護学実習	立花	滅菌と消毒の実践	滅菌、消毒の概念を理解したうえで用途に合わせた滅菌、消毒方法を選択し適切に使用ができるよう実践する。	
3	動物外科看護学実習	立花	滅菌と消毒の実践	滅菌、消毒の概念を理解したうえで用途に合わせた滅菌、消毒方法を選択し適切に使用ができるよう実践する。また、滅菌した物の安全保管期間を把握し管理ができるよう実践する。	
4	動物外科看護学実習	立花	手術施設、設備の準備と管理	機材の管理方法を確認し消耗品の管理と保存管理の現状を確認し実践する。	
5	動物外科看護学実習	立花	手術施設、設備の準備と管理	機材の管理方法を確認し消耗品の管理と保存管理の現状を確認し実践する。	
6	動物外科看護学実習	立花	手術施設、設備の準備と管理	機材の管理方法を確認し消耗品の管理と保存管理の現状を確認し実践する。	
7	動物外科看護学実習	立花	手術施設、設備の準備と管理	機材の管理方法を確認し消耗品の管理と保存管理の現状を確認し実践する。	
8	動物外科看護学実習	立花	術者に必要な準備	手洗いの技術、キャップ、マスク、ガウンの着脱の正しい手順と介助、グローブの装着、無菌の意味と触れてはいけない範囲を再認識して実践する。	
9	動物外科看護学実習	立花	術者に必要な準備	手洗いの技術、キャップ、マスク、ガウンの着脱の正しい手順と介助、グローブの装着、無菌の意味と触れてはいけない範囲を再認識して実践する。	
10	動物外科看護学実習	立花	術者に必要な準備	手洗いの技術、キャップ、マスク、ガウンの着脱の正しい手順と介助、グローブの装着、無菌の意味と触れてはいけない範囲を再認識して実践する。	
11	動物外科看護学実習	立花	手術チームの準備	無菌、滅菌、消毒の知識の実践。	

12	動物外科看護学実習	立花	手術チームの準備	無菌、滅菌、消毒の知識の実践。	
13	動物外科看護学実習	立花	手術器具の準備と 基礎知識	器具の名称と役割を知る、適材適所の用途、落ち度のない準備のためのチェック表活用方法、縫合材料の確認、消耗品の確認を実践する。	
14	動物外科看護学実習	立花	手術器具の準備と 基礎知識	器具の名称と役割を知る、適材適所の用途、落ち度のない準備のためのチェック表活用方法、縫合材料の確認、消耗品の確認を実践する。	
15	動物外科看護学実習	立花	手術器具の準備と 基礎知識	器具の名称と役割を知る、適材適所の用途、落ち度のない準備のためのチェック表活用方法、縫合材料の確認、消耗品の確認を実践する。	
16	動物外科看護学実習	立花	手術器具の準備と 基礎知識	器具の名称と役割を知る、適材適所の用途、落ち度のない準備のためのチェック表活用方法、縫合材料の確認、消耗品の確認を実践する。	
17	動物外科看護学実習	立花	危険物管理、医療廃棄物の実際	動物看護師が理解を深めておくべき危険物管理・医療廃棄物について学ぶ	
18	動物外科看護学実習	立花	危険物管理、医療廃棄物の実際	動物看護師が理解を深めておくべき危険物管理・医療廃棄物について学ぶ	
19	動物外科看護学実習	立花	術前、術中の動物管理と看護	衛生的に行える手術を想定し動物の毛刈りを実施。消毒剤を使用し術野の消毒を実施する。	
20	動物外科看護学実習	立花	術前、術中の動物管理と看護	衛生的に行える手術を想定し術野の消毒を実施。内部から外部の消毒方法を理解した上で実施する。	
21	動物外科看護学実習	立花	術前、術中の動物管理と看護	動物の切開部分を考慮しドレープを配置。適切なドレープの持ち方、かけ方を身に付ける。	
22	動物外科看護学実習	立花	術中の補助	モニターによる管理と数値の報告。輸液管理、獣医師指示のもと麻酔濃度管理、器具出し、獣医師指示による助手業務を理解する。	
23	動物外科看護学実習	立花	術中の補助	モニターによる管理と数値の報告。輸液管理、獣医師指示のもと麻酔濃度管理、器具出し、獣医師指示による助手業務を実施する。	
24	動物外科看護学実習	立花	術中麻酔に関する基礎	麻酔の定義を復習し麻酔上体を理解。局所麻酔、全身麻酔の定義を理解する。	
25	動物外科看護学実習	立花	術中麻酔に関する基礎	急速導入法と緩徐導入法を理解する。導入薬の種類、薬理効果を理解し、実施する。	

26	動物外科看護学実習	立花	術中麻酔に関する基礎	一般的な麻酔器の構造を理解し手術中の麻酔管理をする。	
27	動物外科看護学実習	立花	術後の管理	創傷治療を理解し速やかに行えるよう援助する方法を学ぶ。	
28	動物外科看護学実習	立花	術後の管理	術部、創傷部の観察ポイントや管理における消毒法の理解を学び実施する。痛みの程度を各種ペインスケールを利用し評価する。	
29	動物外科看護学実習	立花	術後の管理	覚醒にむけての準備、バイタルチェック、術創の保護、看護動物への絶食・絶水の管理。飼い主への術後注意事項の説明なども合わせて学び実施する。	
30	動物外科看護学実習	立花	衛生管理	手術室の衛生管理、術中使用したものの衛生管理、モニターの管理等を実際に行って復習する。	
評価方法		学期末試験・授業態度・提出物			

教科	動物臨床看護学実習	1年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	

学習目標	修得した知識の実践力を身に付ける。 動物看護過程や疾患別看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物看護過程の展開・動物病院実習時に見学した事例や想定した事例で動物看護過程を展開する。	ファームプレス6巻
2	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物看護過程の展開・動物病院実習時に見学した事例や想定した事例で動物看護過程を展開する。	ファームプレス6巻
3	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物の状況の変化に応じた看護上の問題やニーズをあげ、適切な対応を考える	ファームプレス6巻
4	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物の状況の変化に応じた看護上の問題やニーズをあげ、適切な対応を考えテーマに沿った内容を実施する。	ファームプレス6巻
5	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物の状況の変化に応じた看護上の問題やニーズをあげ、適切な対応を考えテーマに沿った内容を実施する。	ファームプレス6巻
6	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物看護計画を立て、評価,修正を実施する。	ファームプレス6巻
7	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物看護計画を立て、評価,修正を実施する。	ファームプレス6巻
8	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護過程	動物看護計画を立て、評価,修正を実施する。	ファームプレス6巻
9	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護記録を作成する。	実際の飼育管理や飼養管理の記録と異なることを認識し実際の場での記録の見学や事例による動物看護過程の展開の記録を作成する。	ファームプレス6巻
10	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護記録を作成する。	実際の飼育管理や飼養管理の記録と異なることを認識し実際の場での記録の見学や事例による動物看護過程の展開の記録を作成する。	ファームプレス6巻
11	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護記録を作成する。	実際の飼育管理や飼養管理の記録と異なることを認識し実際の場での記録の見学や事例による動物看護過程の展開の記録を作成し、実際に使用する。	ファームプレス6巻
12	動物臨床看護学実習	濱本	動物看護記録を作成する。	実際の飼育管理や飼養管理の記録と異なることを認識し実際の場での記録の見学や事例による動物看護過程の展開の記録を作成し、実際に使用する。	ファームプレス6巻
13	動物臨床看護学実習	濱本	症状別の動物看護	痛みの表し方・ペインスケールを活用する。	ファームプレス6巻
14	動物臨床看護学実習	濱本	症状別の動物看護	痛みのある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
15	動物臨床看護学実習	濱本	症状別の動物看護	痛みのある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物臨床看護学実習	2年	動物看護科	30時間	1コマ	120分	

学習目標	修得した知識の実践力を身に付ける。 動物看護過程や疾患別看護など、動物臨床看護学で学んだ知識の実践力を修得する。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	痒みのある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
2	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	痒みのある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
3	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	嘔吐のある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
4	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	嘔吐のある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
5	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	排便異常のある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
6	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	排便異常のある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
7	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	多飲多尿のある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
8	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	多飲多尿のある動物の看護法を考え快適な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
9	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	食欲不振のある動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
10	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	食欲不振のある動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
11	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	循環機能障害をもつ動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
12	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	循環機能障害をもつ動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
13	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	呼吸機能障害をもつ動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
14	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	呼吸機能障害をもつ動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻
15	動物臨床看護学実習	若山	症状別の動物看護	栄養摂取・代謝障害をもつ動物の看護法を考え科的な生活を送れるよう実習する。	ファームプレス6巻

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物看護総合実習	1年 2年	動物看護科	120時間 60時間	

学習目標	修得した知識と技術が実際の動物医療現場でどのように活かされるのか動物病院で体験・実習する。動物病院の施設構造、機能を理解し動物看護が行われている場の環境を理解することで獣医療現場での臨床経験から看護動物や飼い主への配慮を含むより実践的な看護と専門知識及び倫理観を修得する。また、チーム獣医療の現場から診療の流れ専門職としての役割を体験し、臨床現場ならではの臨場感を経験する。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	実習時期・実習期間
1	動物看護総合実習	片桐	体験型実習	体験型実習前のオリエンテーション 動物病院実習に入る前に必要な知識、心構えを理解する。	1年次前期 2時間
2	動物看護総合実習	片桐	体験型実習	動物病院内で動物看護師の実際の業務や獣医師との連携を理解する。 学内でのカリキュラム、各教科と実際の業務との関連を知ることで、必要性や目的を理解し意欲の向上を図る。	1年前期 8時間×7日間=56時間
3	動物看護総合実習	片桐	体験型実習	体験型実習の振り返りを行う。	1年次前期 2時間
4	動物看護総合実習	片桐	補助型実習	補助型実習前のオリエンテーション 体験型実習を終え補助型体験において必要な知識、心構えを理解する。	1年次後期 2時間
5	動物看護総合実習	片桐	補助型実習	学内で修得した知識や技術が動物看護業務を実践する上で必須であることを理解する。 飼い主対応や処置室での臨床症例を見学し可能な範囲で体験学習するなかで円滑な人間関係を築く。	1年後期 8時間×7日間=56時間
6	動物看護総合実習	片桐	補助型実習	補助型実習の振り返りを行う。	1年次後期 2時間
7	動物看護総合実習	若山	実務型実習	実務型実習前のオリエンテーション 補助型実習を終え実務型体験において必要な知識、心構えを理解する。	2年次前期 2時間
8	動物看護総合実習	若山	実務型実習	総合的な動物看護の実務能力を修得するための指導を受け、動物看護師実務能力を修得する。 動物看護師としての役割や責任についての認識を深める。	2年前期 8時間×7日間=56時間
9	動物看護総合実習	若山	実務型実習	実務型実習の振り返りを行う。	2年次前期 2時間

評価方法	評価表・ポートフォリオ

教科	美容学概論	1年	動物看護科	16時間	1コマ	120分	
学習目標		1.犬のグルーミングについて詳しく知るために、犬という動物の体についての基礎を学習し理解する。 2.被毛の構造やシャンプー・リンスの特性などを理解し、使いこなすための知識を習得する。 3.各種道具の使い方やお手入れ方法、毛質により違う道具の使い分け方を理解する。					
	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容		使用教材
1	トリマー教本	北川	犬という動物に関する基礎知識	よい犬の定義ならびに犬の分類と馴化の歴史について学習する		グルーミングマニュアル
2	道具説明	北川	各種道具の説明	道具の名称や使い方を学習する		グルーミングマニュアル
3	トリミングの心得	北川	トリミングをする上での心構えについて	実習に入る前にトリミングの重要性を学ぶことで心の準備をする		グルーミングマニュアル
4	実技前注意	北川	実技に入る前に知っておくべきこと	実技をする上での注意や作業手順を学ぶ		グルーミングマニュアル
5	ハサミ	北川	ハサミの基礎知識	ハサミの歴史やハサミの各部名称、素材、仕組みと性質について ハサミの種類や選び方、保管方法について		配布資料
6	シャンプー	北川	シャンプー＆コンディショナーの基礎知識①	被毛の構造や性質、シャンプーとリンスの特性について学習する		配布資料
7	試験前注意	北川	トリマー試験について	トリマー資格試験時の、受験者のマナーや試験中の注意、心構えについて		グルーミングマニュアル
8	実技前注意	北川	進級後の実習について	トリミングする際のオーダーの見方、使用する道具などについて		グルーミングマニュアル
評価方法		学期末試験　授業態度					

教科	美容学概論	2年	動物看護科	16時間	1コマ	120分	
学習目標		トリミングをする上で重要な犬の扱い方やグルーミングの方法、犬種によるカットの違いを学ぶことで、各犬種にあった基本的なトリミング方法や形、ハサミの入れ方などを学習し理解することが目標					

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	犬の扱い	北川	正しい犬の扱い方について	正しい犬の抱き方やトリミングに必要な立たせ方、危険な犬の扱い方などを学習する	
2	グルーミング解説	北川	グルーミングの仕方①	ブラッシングの仕方やコームの入れ方、耳掃除の仕方、シャンプー・ブローの仕方など、解説を聞き、犬を用いて実際にグルーミング作業を行っている所を見ながら、やり方を学ぶ	
3	犬種別実演①	北川	シー・ズー	実際にカットしている所を見ることで、ハサミの入れ方やカットの方法やスタイルを学び理解する	
4	犬種別実演②	北川	シュナウザー	シュナウザーの犬種別講義で学習したことを、実際にカットしている所を見ながら、更に理解を深める	グルーミングマニュアル
5	犬種別実演③	北川	プードル （ケネル＆ラムクリップ）	プードルの犬種別講義で学習したことを、実際にカットしている所を見ながら、更に理解を深める	グルーミングマニュアル
6	犬種別実演⑥	北川	ビション・フリーゼ	実際にカットしている所を見ることで、ハサミの入れ方やカットの方法やスタイルを学び理解する	グルーミングマニュアル
7	犬種別実演⑦	北川	アメリカン・コッカー ・スパニエル	アメリカン・コッカー・スパニエルの犬種別講義で学習したことを、実際にカットしている所を見ながら、更に理解を深める	グルーミングマニュアル
8	犬種別実演⑧	北川	プードル （ケネル＆ラムクリップ）	プードルの犬種別講義をベースに実際にカットしている所を見ながら更に理解を深める。	グルーミングマニュアル

評価方法	学期末試験　授業態度　提出物

教科	動物看護飼育美容実習	1年	動物看護科	270時間	1コマ	120分	

学習目標	･バイタルサインを実施し、動物のからだを深く知る ･実習を通して保定の技術を習得する。 ･トリミングをする上で重要となる犬の保定・犬の扱い方、道具の使い方などの基礎を習得する ･犬種によりカット方法が異なり、各犬種のハサミの使い方や形を理解する

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	4月･5月	鎌田	グルーミング実習	･保定の基礎を学ぶ ･道具の持ち方、使い方の基礎を学ぶ ･シャンプー・ブローの基礎を学ぶ	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
2	6月･7月	鎌田	グルーミング実習	･基礎を中心に保定のバリエーションを学ぶ ･クリッパーの入れ方、使い方の基礎を学ぶ ･足回り、フットラインの切り方を学ぶ	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
3	8月･9月	鎌田	グルーミング実習	･基礎を中心に保定のバリエーションを学ぶ ･ボディのカットの仕方を学ぶ ･クラウンのカットの仕方を学ぶ	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
4	10月･11月	鎌田	グルーミング実習	･基礎を中心に保定のバリエーションを学ぶ ･ボディのカットの仕方を学ぶ ･クラウンのカットの仕方を学ぶ	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
5	12月･1月	鎌田	グルーミング実習	･どんな犬種の保定も出来る様に学ぶ ･顔のカットの仕方を学ぶ	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
6	2月･3月	鎌田	グルーミング実習	･どんな犬種の保定も出来る様に学ぶ ･全身カットを学ぶ。	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式

評価方法	授業態度　　技術習得度

教科	動物看護飼育美容実習	2年	動物看護科	300時間	1コマ	120分	

学習目標	・バイタルサインを実施しながら健康な動物を理解する。 ・負担のないトリミングを実施する。 ・実習を通して様々な犬種のカットを時間内にでき、飼い主の要望に応えられる高い技術力を身につける。 ・実習を通して様々な保定術を身に付ける。

	授業科目名	担当教員	テーマ	内　容	使用教材
1	4月・5月	若山	グルーミング実習 （シザーリング、ブラッシング、コーミング、シャンピング）	バイタルサインを確認しながら負担のないトリミングを実施する 一年次で修得したグルーミングの基礎とシザーが正しく持てるかを再確認する	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
2	6月・7月	若山	グルーミング実習 （クリッピング、カット）	バイタルサインを確認しながら負担のないトリミングを実施する。 時間短縮を心掛け、毛質の違いにあったシザーワークをし、全ての作業を安全に進める	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
3	8月・9月	若山	グルーミング実習 （カット）	バイタルサインを意識しながら負担のないトリミングを実施。 犬種別のカットを理解し、仕上げの美しさ、可愛らしさを追求したトリミングができる	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
4	10月・11月	若山	グルーミング実習 （カット）	バイタルサインを意識しながら負担の少ないトリミングを実施。 犬種別のカットの理解を深め、飼い主のオーダーを意識し、細部までこだわりをもちカットする	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
5	12月・1月	若山	グルーミング実習 （カット応用）	バイタルサインを意識し、保定においても動物の負担がないトリミングを実施。 犬種はもちろん、その個体にあったカットがバランスよく切れ、時間内に一人で完成させることができる	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式
6	2月・3月	若山	グルーミング実習 （カット応用）	バイタルサインを意識し、保定においても動物の負担がないトリミングを実施。プードルのケネル＆ラムクリップを再確認し、完成度を上げる	実習犬 グルーミングマニュアル 道具一式

評価方法	授業態度　　技術習得度